
令和5年度
事業報告書

社会福祉法人 清風会



目次

法人本部	_____	P1~8
------	-------	------

高齢者施設

高齢者施設・事業所	月別利用状況 _____	P9
● 特別養護老人ホーム	洸寿園 _____	P10~14
● 金隈老人保健施設	フラワーハウス博多 _____	P15~21
● ケアハウス	エスペランザ _____	P22~25
● 特別養護老人ホーム	東かなまち桜園 _____	P26~31

保育園

保育園	月別利用状況 _____	P32~35
● 御幸保育園	_____	P36~37
● 日の里東保育園	_____	P38~39
● 五十川保育園	_____	P40~42
● 香住ヶ丘保育園	_____	P43~44
● 平等寺保育園	_____	P45~46
● 東かなまち保育園	_____	P47~49
● 大塚第一保育園	_____	P50~51
● 大塚第二保育園	_____	P52~53

はじめに（総括）

1月1日に発生しました「能登半島地震」において犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表すとともに、被災された多くの皆様にお見舞い申し上げます。また、皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

最大震度7の揺れを観測したこの「能登半島地震」は、4月1日で3カ月が経過しました。今もなお8,000人を超える人が避難所に身を寄せているほか、各地で断水が続くなど、被災者は厳しい環境での暮らしを余儀なくされており、住まいの確保をはじめとした、生活再建に向けた支援が課題となっています。当法人からは、社会福祉施設等に対する支援として、職員の派遣を行いました。自然災害は予測不可能なものです。事例から学び、備えを強化することでその影響を最小限に抑えることができます。リスクに対する理解を深め、職員の派遣を通じて得たものを防災対策のさらなる充実に活かしていきます。

感染拡大が続いていた新型コロナウイルス感染症は、昨年5月より感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行し、約3年3カ月に亘った新型コロナへの体制は大きな節目を迎えました。コロナ禍の中では多くの制限がありましたが、その一方でZoomなどのツールを活用した会議や面会が積極的に行われ、新しい業務の在り方も確立されました。コロナ禍の環境でSDGsへの関心はより高まり、企業にもサステナブルな経営が求められています。当法人としましても、環境や社会に対しても責任を負っている認識を組織全体で共有し、持続可能な発展を目指していきます。世界を取り巻く状況は刻一刻と変化していますが、「地球を破壊から守ること」「誰一人取り残さないこと」というSDGsの柱は、持続すべき真理であり、私たち清風会の理念とも共鳴するものです。私たちはこれからも、よりよい変革のためにSDGsの取り組みを推進し、自ら行動・実践することで、法人の理念である「こどもと高齢者の今を支え、豊かな未来を創る」の実現を目指します。

かつて保育園は共働きの親のために、保育に欠けた子どもを預かる場所でしたが、今の保育園は、安心して子育てをするためになくしてはならない社会施設として国民の期待大きく、未来の社会を託されているといっても過言ではありません。「良い保育をしている」かどうかは、第三者が評価するものと肝に銘じて、謙虚に自分たちの保育を見直し、「子どもの人権に十分配慮するとともに、子ども一人一人の人格を尊重した保育を行う」基本原則の理解に立ち返り、子どもを中心とした保育を継続して実践できるよう努めていきます。

決算としては令和4年度と比較して、高齢者事業・保育事業ともに、増収増益となり黒字を確保できました。令和4年度から取り組んできた東かなまち桜園における資金・人的派遣による経営改善、大塚第一・第二保育園の園児獲得に向けた取り組みは、目標とする利用率の数値を達成することができ、着実に実を結んでいます。その反面、利用者を支える福祉人材確保については、法人内全拠点に共通して、退職者も多く、清風会で働く強い志を持って就職してくれた職員を大切に育てていくための研修等の施策の充実が今後の課題となりました。

令和6年度は、様々な経営課題が生じてきている現状を踏まえ、人材の確保・育成・定着を喫緊の課題として、「持続可能な経営」を目指していきます。

1. 事業概要

	施設名	施設種別	所在地
高齢者 事業	特別養護老人ホーム 洸寿園	特養・短期入所	福岡市博多区
	金隈老人保健施設 フラワーハウス博多 フラワー介護プランサービス	老健・短期入所・通所リハ・訪問リハ 居宅介護支援	福岡市博多区
	ケアハウスエスペランザ	軽費老人ホーム	福岡市博多区
	特別養護老人ホーム 東かなまち桜園	特養・短期入所	東京都葛飾区
保育 事業	御幸保育園	保育所・小規模保育・家庭的保育	福岡市東区
	日の里東保育園	保育所	宗像市
	五十川保育園	保育所・分園・小規模保育	福岡市博多区
	香住ヶ丘保育園	保育所・分園	福岡市東区
	平等寺保育園	保育所	宗像市
	東かなまち保育園	保育所	東京都葛飾区
	大塚第一保育園	保育所	福岡市西区
	大塚第二保育園	保育所	福岡市西区

2. 沿革

昭和 51 年 1 月 20 日	社会福祉法人認可
昭和 51 年 2 月 23 日	社会福祉法人登記
昭和 51 年 4 月 1 日	日の里東保育園 開設 (宗像市)
昭和 51 年 5 月 1 日	御幸保育園 開設 (福岡市東区)
昭和 53 年 4 月 1 日	五十川保育園 開設 (福岡市博多区・旧北栄会)
昭和 53 年 5 月 22 日	特別養護老人ホーム洸寿園 開設 (福岡市博多区)
昭和 55 年 4 月 1 日	香住ヶ丘保育園開設 (福岡市東区・旧藤栄会)
平成 2 年 10 月 24 日	介護老人保健施設フラワーハウス博多 開設
平成 8 年 4 月 26 日	ケアハウスエスペランザ 開設 (福岡市博多区)
平成 16 年 4 月 1 日	平等寺保育園 開設 (宗像市・旧藤栄会)
平成 21 年 4 月 1 日	福岡市より博多区第 4 地域包括支援センターの運営を受託
平成 24 年 3 月 31 日	清風会館 竣工
平成 24 年 10 月 1 日	社会福祉法人北栄会及び社会福祉法人藤栄会を吸収合併
平成 25 年 4 月 1 日	特別養護老人ホーム東かなまち桜園 開設 (東京都葛飾区)
平成 25 年 4 月 1 日	東かなまち保育園 開設 (東京都葛飾区)
平成 27 年 3 月 31 日	博多第 4 地域包括支援センターの受託終了
平成 30 年 4 月 1 日	大塚第一保育園・大塚第二保育園 開設 (福岡市西区)
平成 30 年 6 月 1 日	金の隈訪問介護ステーション 開設 (福岡市博多区)
令和 4 年 12 月 31 日	金の隈訪問介護ステーション 事業廃止

3. 役員等

理事	手嶋 常次（理事長） 喜多岡 陽子 平山 雅敏 山岡 寿 村尾 俊明 佐野 正人
監事	井 保則 坂田 圭介
評議員	上村 孝志 大橋 晋弘 柴田 凱夫 末松 祐而 黒岩 尚昭 茶井 千恵子 小島 英二

4. 会議実績

1. 理事会					
回	開催日	出席	主な審議事項	結果	備考
1	R5.6.8	理事 6 名 監事 2 名	①令和 4 年度事業報告(案)・決算報告(案)について ②令和 5 年度第 1 次補正予算(案)について ③規程の変更について ④任期満了に伴う理事・監事候補者の推薦の提案について ⑤会計監査人の契約更新について ⑥ 第 1 回評議員会の招集について	承認 承認 承認 承認 承認 承認	賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
2	R5.6.24	理事 6 名 監事 2 名	①理事長の選定について	承認	賛成多数
3	R5.7.26	理事 6 名 監事 2 名	①評議員候補者の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集について	承認	賛成多数
4	R5.8.30	理事 6 名 監事 2 名	①フラワーハウス博多協力病院との委託契約の締結について ②エスペランザ 居室改装工事について ③退職に伴う特別加算金の支給について ④第 2 次補正予算(案)について	承認 承認 承認 承認	賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
5	R5.12.2	理事 6 名 監事 2 名	①令和 5 年度中間決算報告について ②第 3 次補正予算(案)について ③規程等の変更について ④積立金の統合について ⑤東かなまち桜園の経営状況について ⑥評議員会の招集について	承認 承認 承認 承認 承認 承認	賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
6	R6.3.12	理事 4 名 監事 1 名	①令和 5 年度第 2 次補正予算(案)について ②令和 6 年度事業計画(案)、当初予算(案)について ③規則・規程の変更について ④食費及び居住費の改定について ⑤ 俸給表の改定（保育園）について ⑥福岡県介護福祉士就学資金の連帯保証人について ⑦保育事業職員ユニフォーム購入について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認	賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
7	R6.3.25	決議の省略	①フラワーハウス博多 介護ロボット導入について	承認	賛成多数

2. 評議員会					
回	開催日	出席	主な審議事項	結果	備考
1	R5.6.24	評議員 6 名 監事 2 名	①令和 4 年度事業報告(案)・決算報告(案)について ②令和 5 年度第 1 次補正予算(案)について ③役員及び評議員の報酬等並びに費用弁償に関する規程の変更について ④任期満了に伴う理事・監事の選任について ⑤常勤理事の役員報酬について ⑥ 会計監査人の契約更新について	承認 承認 承認 承認 承認 承認	賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数
2	R5.12.2	評議員 6 名 監事 2 名	①令和 5 年度中間決算報告について ②第 3 次補正予算(案)について ③定款変更について	承認 承認 承認	賛成多数 賛成多数 賛成多数
3	R6.3.23	評議員 6 名 監事 2 名	①令和 5 年度第 4 次補正予算(案)について ②令和 6 年度事業計画(案)、当初予算(案)について ③理事長の報酬返還について	承認 承認 承認	賛成多数 賛成多数 賛成多数

3. 経営会議					
回	開催日	出席	主な審議事項	結果	備考
1	R5.4.6	委員 13 名 書記 3 名	①令和 5 年度保育士採用方針について(びたカフェ) ②平岡介護福祉専門学校との連携について ③保育園おむつ処理の在り方について ④積立金の積立について ⑤決算スケジュールについて		
2	R5.5.11	委員 13 名 書記 3 名	①令和 4 年度事業報告・決算について ②補正予算について (エスペランザ・フラワーハウス博多) ③内規の変更について (永年勤続・感染症)		
3	R5.6.1	委員 13 名 書記 3 名	①規程の制定・変更等について ②任期満了に伴う理事の推薦の提案について ③理事会・評議員会開催について		
4	R5.7.6	委員 13 名 書記 3 名	①法人主催研修の開催 (高齢者部門) について ②職員採用と人事紹介の利用状況について ③理事会の開催について		
5	R5.8.3	委員 13 名 書記 3 名	①第一四半期の収支状況について ②東かなまち桜園の経営改善の検討状況について ③フラワーハウス博多の協力病院との契約について		
6	R5.9.7	委員 13 名 書記 3 名	①東かなまち桜園の経営時改善の検討状況について ②個人ロッカーの管理について ③規程の変更について		

回	開催日	出席	主な審議事項
7	R5.10.5	委員 13 名 書記 2 名	①東かなまち桜園の経営状況について ②最低賃金の取り扱いについて
8	R5.11.2	委員 13 名 書記 2 名	①令和 5 年度中間決算(暫定)について ②第 3 次補正予算(案)について ③規程等の変更について ④東かなまち桜園の経営状況について ⑤積立金の統合について ⑥ディップ(株)の広告実績と今後について ⑦理事会・評議員会の開催について
9	R5.11.30	委員 12 名 書記 2 名	①令和 5 年度中間決算について ②東かなまち桜園の経営状況について ③東かなまち桜園 規程の変更について ④大塚第二保育園の不適切保育による事案の検証と保育改善策サポートチームの編成について
10	R6.1.11	委員 13 名 書記 2 名	①令和 5 年度 事業計画及び当初予算の作成について ②東かなまち桜園 介護職員人員配置の経過報告 ③令和 6 年度 園児募集状況について
11	R6.2.8	委員 13 名 書記 2 名	①令和 5 年度第 3 四半期の決算状況 ②フラワーハウス博多における食費及び居住費の改定について (案) ③規程等の変更について ④福岡介護福祉専門学校の留学生採用について ⑤園児の募集状況について
12	R6.3.7	委員 13 名 書記 2 名	①令和 5 年度第 4 次補正予算(案)について ②令和 6 年度 事業計画(案)、当初予算(案)について ③規則等の変更について ④俸給表の改定(保育園)について ⑤施設長の交代について ⑥ユニフォーム購入(保育園)について ⑦ 令和 5 年度 第 6 回理事会開催について

6. 監査実績

(1) 監事監査

① 定期監査

実施日及び 実施施設	【令和5年10月10日】 御幸保育園・日の里東保育園・五十川保育園・平等寺保育園・東かなまち保育園 大塚第一保育園・大塚第二保育園・洸寿園 【令和5年10月11日】 本部・フラワーハウス・エスペランザ・東かなまち桜園・五十川保育園
出席監事	井保則 坂田圭介
立会役職員	施設長・事務長・事務担当者・本部職員
監査内容	(1)職員の配置・勤怠・採用管理の状況 (2)年次有給休暇の管理状況 (3)超過勤務の管理状況 (4)預金・小口現金・預り金・公印の管理状況 (5)事故報告・苦情報告等の状況 (6)その他
監査結果	・預貯金の通帳と印鑑の保管管理 ・普通預金の通帳残高は、必要額を大きく超えるものとなっており管理の在り方を検討

② 決算監査

実施日	令和6年5月15日・16日
出席監事	井保則 坂田圭介
立会役職員	本部職員

(2) 指導監査

① 洸寿園・エスペランザ

実施日	令和5年10月27日
指摘事項 (文書指導)	指摘事項なし

② 日の里東保育園

実施日	令和5年9月20日
指摘事項 (B項目以上又は 文書指導以上)	(福岡県・宗像市) 特になし

③平等寺保育園

実施日	令和 5 年 9 月 22 日
(B 項目以上又は 文書指導以上)	<p>(福岡県) 特になし (宗像市) ○保育所経理</p> <p>・小口現金の支払いについて職員の立替払いがあります。立替払は原則認められませんので、小口現金制度を適切に運用し、立替払は行わないようにしてください。</p>

④福岡市定期監査（令和 5 年 12 月）

御幸保育園（小規模・家庭的含む）	<p>○衛生管理</p> <p>・手洗いを適切に実施してください。（調乳室内に消毒液を常備してください）</p> <p>○保育について</p> <p>・歯科健診結果を記録してください。</p>
五十川保育園（分園・小規模含む）	<p>○施設運営</p> <p>・住宅手当の任継書類は正確に記載してください。</p> <p>○経理事務</p> <p>・決算付属明細書である「事業区分間および拠点区分間繰入金明細書」は正確に作成してください。</p> <p>・決算付属明細書である「事業区分間及び拠点区分間貸付金(借入金)残高明細書」は正確に作成してください。</p>
香住ヶ丘保育園（分園含む）	指摘事項なし
大塚第一保育園	指摘事項なし
大塚第二保育園	<p>○施設運営</p> <p>・消火・避難訓練は毎月 1 回行ってください。</p>

⑤東かなまち保育園

実施日	令和 5 年 10 月 17 日
指摘事項 (文書指導)	指摘事項なし

7. 重点実施項目の取り組みと成果

(1)コンプライアンス、SDGsの推進

- ・法人の経営と事業の透明性を図るため、経営会議・委員会の在り方を再編し、法人組織体制の見直しと規程類の変更を行いました。
- ・法人SDGsについては、「福岡市 Well-being & SDGs 登録制度」への取り組みの宣言を行い、マスター登録の認定を受けています。

(2)大規模災害に対する取り組みの充実

- ・法人の事業継続計画（BCP）を策定し、高齢者施設における備蓄品の管理を本部で把握することで有事に備えています。引き続き事業継続計画の理解促進に努めていきます。

(3)人材確保と定着

- ・人材紹介会社に極力頼らない採用活動として、学生の集いの場である「ぴたカフェ」への申し込みを行い保育者のためのコミュニケーションスペースを確保するとともに、Instagram等のSNSを通じた広報活動の強化を行っています。
- ・中間管理職を対象としたヒューマンスキルを磨くためのリーダー研修を外部委託にて毎月行っており、次年度も継続実施していきます。

(4)サービスの提供に係るリスクマネジメント

- ・事故・苦情対応を中心とした取り組みを実施してきましたが、職員不足が深刻化しており、人員確保を含めた組織経営全般に視野を広げ、継続実施していきます。

(5)法人総体の財務計画の策定

- ・計画具体化並びに実効性の検証について取り組めずに、次年度に持ち越しとなりました。

社会福祉法人清風会 高齢者施設・事業所 月別利用状況

令和5年度

施設名	施設種別	定員	利用状況												合計・平均		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
洗寿園	特養 (短期舎)	100	末日在籍	91	92	96	91	92	93	95	94	96	95	96	94	96	93.8
			月間延数	2,672	2,851	2,780	2,895	2,770	2,774	2,915	2,864	2,923	2,947	2,758	2,907	2,907	34,056
			日平均	89.1	92.0	92.7	93.4	89.4	92.5	94.0	95.5	94.3	95.1	95.1	95.1	93.8	93.1
			利用率	89.1%	92.0%	92.7%	93.4%	89.4%	92.5%	94.0%	95.5%	94.3%	95.1%	95.1%	95.1%	93.8%	93.1%
東かなまち 校園	特養	140	末日在籍	131	134	136	133	134	134	137	138	139	139	139	137	139	135.9
			月間延数	3,668	3,957	3,876	4,005	3,911	3,881	4,063	4,014	4,182	4,159	3,883	4,130	4,130	47,729
			日平均	122.3	127.6	129.2	129.2	126.2	129.4	131.1	133.8	134.9	134.2	133.9	133.2	133.2	130.4
			利用率	87.3%	91.2%	92.3%	92.3%	90.1%	92.4%	93.6%	95.6%	96.4%	95.8%	95.6%	95.2%	95.2%	93.1%
777-ハウス博多	老健 (短期舎)	20	末日在籍	15	10	12	14	13	13	13	7	15	12	11	13	11	11.8
			月間延数	452	503	472	519	527	509	504	474	483	443	467	495	495	5,848
			日平均	15.1	16.2	15.7	16.7	17.0	17.0	16.3	15.8	15.6	14.3	16.1	16.0	16.0	16.0
			利用率	75.3%	81.1%	78.7%	83.7%	85.0%	84.8%	81.3%	79.0%	77.9%	71.5%	80.5%	79.8%	79.8%	79.9%
777-ハウス博多	通所小	138	末日在籍	120	116	121	119	119	122	114	110	115	114	113	118	116.8	
			月間延数	3,556	3,633	3,494	3,710	3,741	3,558	3,572	3,399	3,492	3,571	3,262	3,580	42,568	
			日平均	118.5	117.2	116.5	119.7	120.7	118.6	115.2	113.3	112.6	115.2	112.5	115.5	116.3	
			利用率	85.9%	84.9%	84.4%	86.7%	87.4%	85.9%	83.5%	82.1%	81.6%	83.5%	81.5%	83.7%	84.3%	
777-ハウス博多	通所小	20	月間延数	304	346	348	318	293	302	303	304	287	293	305	309	3712.0	
			日平均	12.2	12.8	13.4	12.2	10.9	11.6	11.7	11.7	11.1	12.2	12.2	11.9	12.0	
			利用率	61.0%	64.0%	67.0%	61.0%	54.5%	58.0%	58.5%	58.5%	55.0%	61.0%	61.0%	59.5%	59.9%	
			利用者数	3	3	4	4	3	4	4	3	4	3	4	2	3	
777-ハウス博多	訪問小	-	訪問回数	12	14	13	13	14	13	13	14	13	14	13	10	156	
			件数	72	74	73	69	69	67	68	64	62	65	66	64	68	
			末日在籍	141	143	143	144	144	144	144	141	140	140	141	137	141.8	
			利用率	94.0%	95.3%	95.3%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	94.0%	93.3%	93.3%	94.0%	91.3%	94.6%	
777-ハウス博多	軽費	150	件数	72	74	73	69	69	67	68	64	62	65	64	68		
			利用率	94.0%	95.3%	95.3%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%	94.0%	93.3%	93.3%	94.0%	91.3%	94.6%	

特別養護老人ホーム 洸寿園

1. 施設概要

施設所在地	福岡市博多区金の隈 3-24-55
施設長氏名	山田 栄
事業開始年月日	昭和 53 年 5 月 22 日
実施事業・定員	介護老人福祉施設（定員 100 名） （介護予防）短期入所生活介護（空床利用型）

2. 沿革

昭和 53 年 5 月 20 日	特別養護老人ホーム洸寿園 認可
昭和 53 年 5 月 22 日	特別養護老人ホーム洸寿園 開園
昭和 55 年 4 月 1 日	ショートステイ事業 開始（福岡市）
昭和 62 年 4 月 1 日	施設機能強化推進事業 開始（福岡市） (処遇困難事例研究事業)
平成元年 8 月 1 日	ナイトケア事業開始（福岡市）
平成元年 12 月 23 日	御下賜金 拝受
平成 9 年 10 月 1 日	老人介護支援センター事業 開始（福岡市）
平成 12 年 3 月 31 日	介護保険施行に伴い、福岡市短期入所事業・老人介護支援センター事業受託契約解除 福岡市施設機能強化推進事業終了

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

※利用状況の統計表は末尾参照

令和 5 年度の年間入居者延数は 34,056 人／稼働率 93.05％と、前年度(34,097 人／稼働率 93.42％)を下回り、目標の 96％も達成には至らなかった。前年のコロナクラスターが影響し、新規入居受入数は増やしたものの、退所・入院の方も多くベッドコントロールが難しい状況が続いた。その後 11 月頃よりようやく平均 95 名前後で落ち着いてきている。

当施設の待機者が多くいるフラワーの入所率が低下している為、待機者への案内ができない状況がある。その影響もあり、入所判定会議(9 月・3 月)前に、案内可能な方がいないとなることがあった。以前からの課題でもあるが、申込者の大半が近隣施設からに集中している為、案内予定者のいる施設で感染症が流行した際にスムーズに案内することができない。そのため、より幅広く申込を受けることができるよう取り組んでいきたい。また、次年度は入所判定会議の回数を増やし、円滑な入居案内と入居率の維持に努めたい。

(2) 運営報告

① 委員会活動報告

各委員会では施設サービスのあり方や運営状況等を議題に、多職種の参加により様々な視点から意見を出し合い、入居者の生活環境や職員の労働

環境などの改善に取り組んでいる。

令和5年度は、会議リーダーに新たな2名が着任。会議リーダー制により、委員会の活性化と各リーダーのスキルアップなどに繋がっている。

② 行事実施報告

令和5年度は、インフルエンザに罹患した入居者が数名出た事により中止した行事もあるが、安全対策を講じつつ、敬老会や花火大会などに加えて久しぶりにバスハイクも開催でき、入居者の方々には喜んで頂けている。次年度も感染症対策は継続するが、入居者の楽しみのために、外出行事も含めた行事活動の幅をできる範囲広げて実施していきたい。

③ 研修実施報告

令和5年度から、新たな動画研修(E care labo)へ変更。受講する項目も多く、分かりやすいとの声が聞かれている。

また、新たに法人全体によるリーダー研修を開催(1年間)。参加職員は法人理念を意識しながらリーダーとして主体性を持った取り組みを行えるよう、研修を通してその理論や手法を学んでいる。

外部研修への参加者数は、少なかった前年度と比べると倍近くに増えている。今後もそれぞれの研修での各職員の習得状況も確認しつつ、研修という学びの機会を大事にし、より多くの職員の受講を目指したい。

④ 苦情受付件数：2件(全て解決)

受付件数は2件あり、①訪問歯科への伝達の際に、家族と施設の認識が異なったことにより正確な情報が伝わっておらず、苦情となった。施設から家族への説明・相談不足が原因で起こったため、家族への連絡の再徹底を周知している。②夜間にコール対応に来てくれなかったとの訴えがあり、職員の思い込みや配慮不足が原因であり、コール越しであっても、しっかりとした説明と対応の再徹底を周知している。

コロナ禍が続き、家族の面会が少なくなり、職員が家族と直接会って説明するような機会が減り、関係が希薄になりがちである。その為、今後も入居者の変化や事故などは、こまめに家族へ報告や相談を行い、家族の不信感や苦情に繋がらないよう努めていきたい。

⑤ 事故報告

・事故報告：219件(受診18件)／前年度270件(受診13件)

・気づき報告：545件／昨年度491件

令和 5年度	事故 件数	受診	市町村 報告	市町村報告内訳				
				骨折	誤嚥	異食	誤薬	その他
4月	16	1	2	1	1	0	0	0
5月	25	0	2	0	1	0	0	1
6月	17	3	4	0	0	0	0	4
7月	22	2	3	0	1	0	0	2
8月	19	0	2	0	1	0	1	0
9月	21	1	2	0	1	0	0	1
10月	17	2	3	0	0	0	1	2
11月	14	1	2	0	0	0	0	2
12月	15	2	1	1	0	0	0	0
1月	19	2	3	1	0	1	0	1
2月	20	3	2	1	0	0	0	1
3月	14	1	1	0	0	0	0	1
合計	219	18	26	4	5	1	2	15

令和5年度は、事故報告書が前年比51件減少し、気づき報告書が54件増えている。市町村報告は26件。前年と比べると、異食事故が大幅に減少している(対象者の異食行為が落ち着いていることによる)。令和5年度は誤嚥から重傷化するケースも複数あった為、引き続き事故予防と発生時の適切な対応に努めていきたい。また、骨折事故については、4件中3件が居室内での自己動作によるものである為、その都度居室内の環境の見直し・センサーの使用などの対策を講じている。次年度には、事故防止のためにカメラの導入も検討している。

⑥ 地域交流、⑦ ボランティア(受け入れ)

令和5年度は、コロナの影響により、演芸等のボランティアの受け入れは中止したが、地域活動(清掃活動・買物支援)への参加は再開している。

4. 総括

令和5年度は、施設全体でコロナ対策に努め、コロナの施設内蔓延を防ぐことができた。ただし、入居率については、新規入居者は前年度のコロナクラスター発生による入居率低迷の影響に加え、退所・入院の増加により入居率の回復に時間を要した一年であった。昨年11月頃より入居率は安定してきている為、これの維持と更なる向上を目指し、目標達成できるよう取り組んでいきたい。

コロナ禍により面会制限や外出制限、行事等の縮小などを継続し、入居者の方々には窮屈な思いをさせてきたが、年度末にかけてようやくコロナ対応の緩和を徐々に始めることができている。次年度は、入居者が施設生活の中で、より楽しみを感じられる機会を多く作れるよう取り組みたい。

令和 5 年度統計資料

1. 施設利用状況（入所及び退所・月別延べ入所率）

	月間入所者数				月間退所者数					月間延べ 入所者数	平均入所率 (%)
	家庭	施設	病院	計	家庭	施設	病院	死亡	計		
4	3	3	1	7	0	0	0	1	1	2672	89.07
5	1	3	2	6	0	0	0	2	2	2851	91.97
6	0	3	1	4	0	0	1	2	3	2780	92.67
7	0	1	0	1	0	0	1	1	2	2895	93.39
8	0	3	0	3	0	0	1	4	5	2770	89.35
9	0	1	2	3	0	0	1	3	4	2774	92.47
10	0	2	1	3	0	0	1	0	1	2915	94.03
11	1	1	0	2	0	0	0	0	0	2864	95.47
12	1	1	0	2	0	0	0	1	1	2923	94.29
1	0	2	0	2	0	0	2	1	3	2947	95.06
2	0	2	1	3	0	0	0	3	3	2758	95.10
3	0	1	0	1	0	0	0	3	3	2907	93.77
計	6	23	8	37	0	0	6	21	28	34056	93.05

2. 施設利用状況（入所期間） R6.03.31

区 分	男(人)	女(人)	計(人)
1年未満	10	17	27
1～2年未満	3	9	12
2～3年未満	1	11	12
3～4年未満	2	10	12
4～5年未満	0	8	8
5～6年未満	2	6	8
6～7年未満	0	1	1
7～8年未満	3	3	6
8～9年未満	0	1	1
9～10年未満	0	2	2
10年以上	1	3	4
計	22	71	93

3. 施設利用状況（年齢別） R6.03.31

区 分	男(人)	女(人)	計(人)
60歳～64歳	0	0	0
65歳～69歳	1	1	2
70歳～74歳	5	5	10
75歳～79歳	4	8	12
80歳～84歳	9	9	18
85歳～89歳	2	23	25
90歳～94歳	1	17	18
95歳～99歳	0	8	8
100歳～	0	0	0
合計	22	71	93
平均年齢	79.6	85.9	84.4
最高年齢	91	98	98

4. 施設利用状況（介護度別） R6.03.31

要介護度	男（人）	女（人）	計（人）
要介護1	0	3	3
要介護2	4	3	7
要介護3	8	18	26
要介護4	4	30	34
要介護5	6	17	23
合計	22	71	93
平均	3.5	3.73	3.70

5. 保険者別数 R6.03.31

保険者	男（人）	女（人）	計（人）
福岡市博多区	16	49	65
福岡市東区	1	4	5
福岡市南区	1	7	8
福岡市西区	0	0	0
福岡市中央区	0	0	0
福岡市早良区	0	0	0
福岡市城南区	0	0	0
春日市	2	2	4
大野城市	1	4	5
那珂川市	0	1	1
筑紫野市	0	0	0
高千穂町	0	1	1
横浜市	0	1	1
長崎県対馬市	0	0	0
太宰府市	0	0	0
広域連合	1	2	3
計	22	71	93

6. 健康保険の加入状況 R6.03.31

保険の種類	男（人）	女（人）	計（人）
後期高齢者	17	61	78
国民健康保険	3	3	6
協会けんぽ	0	1	1
医療扶助	2	6	8
計	22	71	93

7. 身体障がい・精神障害者手帳所持状況（人） R6.03.31

等級	1級		2級		3級		4級		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
視覚	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
聴覚・言語	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
四肢体幹	6	4	1	6	1	0	0	0	8	10
内部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重複	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神	0	0	1	2	0	0	0	0	1	2
男女別計	6	4	2	10	1	0	0	0	9	14
計	10		12		1		0		23	

フラワーハウス博多

1. 施設概要

施設所在地	福岡市博多区金の隈 3-24-8
施設長氏名	江崎 卓弘（令和 4 年 4 月 1 日～ ）
事業開始年月日	平成 2 年 10 月 24 日
実施事業・定員	介護老人保健施設（定員 138 名） （介護予防）短期入所生活介護（空床利用型） （介護予防）通所リハビリテーション（定員 20 名） （介護予防）訪問リハビリテーション 居宅介護支援事業所（フラワー介護プランサービス）

2. 沿革

平成 2 年 10 月 24 日	金隈老人保健施設 開設許可・事業開始
平成 7 年 11 月 14 日	施設名称変更「金隈老人保健施設フラワーハウス博多」
平成 11 年 8 月 1 日	居宅介護支援事業所フラワー介護プランサービス認可
平成 12 年 4 月 1 日 （介護保険法施行）	介護保健施設事業・短期入所療養介護事業・通所リハビリテーション・居宅介護支援事業開始
平成 15 年 12 月	3 階～6 階全面改装終了
平成 17 年 11 月	1 階・2 階全面改装終了
平成 18 年 4 月 1 日 （介護保険法改正）	介護予防短期入所療養介護事業・介護予防通所リハビリテーション事業開始
平成 23 年 10 月	公益社団法人全国老人保健施設協会より表彰
平成 29 年 5 月	訪問リハビリテーション事業・介護予防訪問リハビリテーション事業開始
平成 29 年 6 月	施設大規模改修工事終了
令和 3 年 3 月	個室化改修工事終了（完全個室 2 室、準個室 10 室）
令和 3 年 4 月	入所定員を 2 名減じ 138 名とする

3. 事業経過

（1）施設利用状況

① 介護保健施設・短期入所療養介護事業（定員 138 名）

年間入所者延数は 42,568 名（1 日平均 116.3 名／利用率 84.3%）で、前年度比、▲4,439 名（1 日平均▲12.5 名／利用率▲9%）でした。令和 4 年 8 月と令和 5 年 1 月に当施設で発生した新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた令和 4 年度下半期の流れを令和 5 年度当初もそのまま引きずり、4 月の平均入所者数 118.5 名で年度をスタートした結果、年度上半期の 1 日平均入所者数は 118.5 名と施設目標を大幅に下回りました。下半期も低迷状態は続き、入所者数は累計 116.3 名で年度を終了しました。ただし、入所のうち、短期入所延数に関しては前年度を 287 名上回りました。

一方、施設類型は年間通して「超強化型」を維持することができています。

令和 6 年度は、前年度の課題を分析し対策を整え 1 日平均入所者数 130 名の

年度目標の達成に向け、施設全部門が一丸となり、全力で協力し合っていかなければならないと考えています。

②（介護予防）通所リハビリテーション事業（定員 20 名）

令和 5 年度の通所利用者延数は 3,712 名（1 日平均 12.0 名／利用率 60%）でした。前年度比で、利用延数は 90 名増（1 日平均 0.3 名増／利用率 1.5% 増）となりました。前年度と比べ、要支援利用者（介護予防）が増えたことも特徴的であり、要支援者延べ人数は 278 名で全体の 7.5%（前年度比 2.4% 増）となったことに関しては、地域に健康維持増進のために専門的リハビリを必要とする方が増えてきたことも理由と思われまます。

今年度は、感染状況が落ち着いたこともあり、外出レクリエーションや季節のイベントを行うことができ、ご利用者、ご家族様に大変喜んで頂けました。

令和 6 年度も老健施設退所後の受け皿として、また地域の高齢者の在宅療養を支援する事業所としての役割を果たしていきます。

③（介護予防）訪問リハビリテーション事業

令和 5 年度の実人数は 4 名、訪問リハビリ延数は 156 回でした。前年度比で実人数は 1 名減ですが、訪問リハビリ延数 47 回増となりました。今年度は感染による訪問自粛が減り、予定通り訪問できたことが増加の要因と考えられます。訪問リハビリは、老健の持つ在宅療養支援機能のひとつであり、事業を継続するためにも、地域の高齢者の在宅生活を支援するためにもサービスの質の向上と、利用者確保に努めてまいります。

④ 居宅介護支援（フラワー介護プランサービス）

居宅介護支援（介護予防支援）の延数は 813 名（月平均 67.8 名）と、目標数 720 名（月平均 60 名）をクリアできました。居宅サービスを必要とする利用者のアセスメントを適切に行い、利用者のニーズにあった居宅サービス計画書を作成します。また、利用者の突発的事象にも柔軟に対応できるよう、日頃から準備を行い、引き続き責任ある業務の遂行を心掛けていきます。

⑤ 第二種社会福祉事業

第二種社会福祉事業である「無料又は低額介護老人保健施設利用事業」においては、今年も目標通り延入所者数の 10.7%の方を対象とし、社会福祉事業として、生活困難者への援助を減免規程に従って行うことができました。

(2) 運営報告

① 会議・委員会活動報告

運営会議をはじめとし、利用者処遇に関する課題解決や情報共有のために会議・委員会を多職種で構成し設置しています。令和 5 年度、12 種の会議・委員会を行い、延べ 131 名の構成員で運営しています。業務全般において効率性、効果性の視点から有効な会議・委員会と評価しますが、引き続き質が高く活発な意見が出し合える会議・委員会となるように内容の充実に努めていきたいと考えまます。

令和 5 年度もコロナ感染の影響や業務調整がつかずに会議等を中止せざるを得ないことがあり、少なからず会議・委員会活動の目標達成に支障を来したと考察しています。また、施設全体の安全管理の観点から新たにリスクマネジャーを 1 名増やし、合計 3 名のリスクマネジャーでリスクマネジメント委員会の運営を主体的に行っています。施設の安全管理をより強化するために、事故防止部会と防災・施設環境整備部会、リスクマネジメント委員会が中心となり、利用者が安全、安心して生活できる体制作りを行っています。

② 行事・広報活動報告

コロナ禍以降、感染拡大予防および防止の観点から、行事やレクリエーション等が積極的に開催できない状況が継続していました。しかしながら、令和 5 年度は感染対策を講じた上で、レクリエーションや行事も再開し、夏祭りや敬老会は規模を縮小して開催し利用者に喜んで頂くことができました。

また、面会については、11 月からご家族様に直接顔を見て面会して頂けるよう、居室面会を再開することができました。

一方で、安心・安全な療養生活を維持するために、引き続きコロナウイルス感染症を持ち込まないことは重要であると考えております。利用者が家族に会える大切な時間を守るためにも、高齢者施設で働く職員は高い感染防止対策に係る意識を持ち行動し、これを継続する必要があると考えています。

③ 研修実施報告

感染・褥瘡予防委員会、権利擁護推進委員会、事故防止部会では専門的施設内研修を年間で各 2 回開催し、件数が年々増加している看取りケアについても、年 2 回の専門的施設内研修を開催しております。

また、新たに介護福祉士養成校の学生の介護実習を支援する介護福祉士実習指導者講習会を修了した職員を 2 名増やし、学生のバックアップ及び高齢者施設が担う人材育成の支援体制を構築することができました。今後、生産人口が減少する日本で介護の人材育成をすることは、安定した施設運営を行っていくためにも必要であり、介護福祉士養成校との連携を強化するとともに、外国籍の職員へ指導・教育する職員のコミュニケーション能力や関わり方のスキルアップを図らなければなりません。

令和 6 年度も、引き続き感染状況に合わせた研修の形での受講参加を促進し、現場で活かし、その他の職員へも伝達できるようにしていきます。

④ 苦情

受付件数は 3 件で、主には衣類管理に関することです。洗濯物を持ち帰られた際に他利用者の物が入っていることや、退所の際に預けていた衣類が入っていない等がありました。当方の管理上の不備があり、また無記名のため持ち主不明衣類等が散見され、今後の衣類管理の徹底が課題としてあげられます。説明と謝罪により大きな問題に発展することはありませんでしたが、同様の苦情が生じないように管理体制を構築しなければなりません。

⑤ 事故報告

令和 5 年度の総事故報告件数は 175 件発生しております。総事故報告件数は前年度比 81 件減少しております。事故の内容につきましては、最も多い事故が転倒 62 件、次に皮下出血 27 件、誤薬と薬漏れ 25 件となっています。事故発生時には定期的な振り返り、マニュアルの確認と見直しを行い、事故防止に努めています。

令和 5 年度は誤薬防止のためと薬マニュアルの整理及び薬チェックやセットに係る看護師の業務環境への取組を実施しました。利用者の安全を守るため、事故防止部会とリスクマネジメント委員会が中心となり、誤薬事故防止と転倒、転落事故防止に引き続き努めていきます。未解決の事故等は今年度もありませんでした。

⑥ ボランティア・地域交流

令和 5 年度、新型コロナは感染症法上の位置づけが第 5 類に移行され、一定の収束の形にはなっているものの、ボランティアの受け入れにはまだまだ慎重にならざるを得ない年度でした。一方、外向けの動きとしては、地域行事への参加を少しずつ開始しました。

ボランティアに関しては、年度内一度もボランティアの受け入れをしなかったため、当施設に対して積極的・継続的にボランティア活動を行っていただいている那珂南ボランティア様から、令和 5 年度も手作りのメッセージカードや作品をいただき、入所者の日常に活気と温かさをもたらしてくれました。その行為がありがたく受け止め、3 年目になりますが、年度末には「感謝状」を贈呈し、日ごろの謝意をお伝えすることができました。

地域交流については、まずは地域貢献活動としてコロナ禍で中断しておりました「買い物支援」を再開させ、毎月第 2・4 水曜日にて実施することができました。また、地元である金隈新町の「ふれあいネットワーク会議」や「金隈新町サロン会」（茶話会形式の集会）などに参加させていただき、清風会の施設を紹介できる機会を得るなど、地元へ清風会の存在感をアピールしました。今後の「出前講座」や当施設の通所リハビリに繋がる「健康チェック」の実施に向けての動きを示すことができたことは、地域貢献へ一歩前進したと考えています。

4. 総括

令和 5 年度の経営状況では、事業活動資金収支差額で 36,500 千円の黒字でしたが、当期資金収支差額では▲10,976 千円でした。年度累計の平均入所者数が 116.3 名と低調な結果となり、目標である 133 名を 16.7 名も下回ったことが、赤字経営となった最大の原因です。幸いにも補助金収入 25,490 千円あったこと、施設類型で「超強化型」を年間通して維持できたこと、更には LIFE 関連加算 4 項目を算定していることが赤字額をこの程度に抑えられた要因だと考えます。

整備面では、前年度から繰り越していた「非常用自家発電設備」が整備でき、非常災害発生時でも業務継続できる大きな条件を一つクリアしました。また、見守り用「介護ロボット」を導入することが決まり、職員の負担軽減、効率的な運

営に繋げるよう活用したいと考えています。

他方、令和 6 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震に伴う支援のための介護職員等の派遣においては、看護、介護、リハ部門から 10 名の職員が自ら申し出て、石川県の 1.5 次避難所で被災者のケア業務に従事してくれました。被災地の復興支援に当施設が何らかの形で携わることができたことに対し、現地に赴いた職員、併せて派遣された職員により不足した労力をカバーしてくれた職員の方々には感謝申し上げます。

令和 6 年度に向けては、2 年連続しての赤字経営にならないよう、年度目標（1 日平均：入所 130 名、デイケア 15 名）の達成に努め、併せて「超強化型」の維持、LIFE 関連加算の算定項目数の増も視野に入れた増収に向け努力するとともに、地域貢献活動に積極的に取り組みながら、地域にとってなくてはならない施設を目指していきます。

令和5年度 施設利用状況

フラワーハウス博多

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間延数	月平均	比率
月間入所者数	33	24	39	32	27	31	35	21	35	23	25	28	353	29.4	-
在宅	家庭	1	5	2	2	2	2	2	3	1	1	7	34	2.8	9.6%
	施設	0	2	0	3	4	1	0	0	0	1	3	15	1.3	4.2%
医療機関	8	6	12	7	7	10	10	7	10	11	8	8	104	8.7	29.5%
介護保険施設	1	1	0	0	0	1	0	0	3	0	1	0	7	0.6	2.0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0%
短期	18	14	22	20	14	17	22	12	19	11	14	10	193	16.1	54.7%
月間退所者数	34	28	34	34	27	28	43	25	30	24	26	23	356	29.7	-
在宅	家庭	1	2	5	0	3	3	1	1	1	2	0	20	1.7	5.6%
	施設	6	5	0	5	1	3	4	3	2	3	2	36	3.0	10.1%
医療機関	5	6	5	5	5	9	7	7	3	4	3	6	65	5.4	18.3%
介護保険施設	2	2	2	1	1	0	1	0	1	1	1	1	13	1.1	3.7%
死亡	2	0	0	1	3	0	4	3	5	2	5	2	27	2.3	7.6%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0%
短期	18	13	22	22	14	15	24	12	17	14	12	12	195	16.3	54.8%
在所有者延数	3,556	3,633	3,494	3,710	3,741	3,558	3,572	3,399	3,492	3,571	3,262	3,580	42,568	3547.3	-
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	30.5	-
平均	118.5	117.2	116.5	119.7	120.7	118.6	115.2	113.3	112.6	115.2	112.5	115.5	116.3	-	-
利用率	85.9%	84.9%	84.4%	86.7%	87.5%	85.9%	83.5%	82.1%	81.6%	83.5%	81.5%	83.7%	84.3%	-	-
在宅復帰率	53.8%	46.7%	41.7%	45.5%	40.0%	27.3%	40.0%	30.0%	50.0%	14.3%	33.3%	25.0%	40.7%	-	-
ベッド回転率	0.126	0.106	0.129	0.1	0.107	0.099	0.138	0.1	0.129	0.086	0.118	0.116	0.1231	-	-
短期入所延数	74	75	104	89	57	64	76	58	92	61	53	47	850	70.8	-
利用者実人数	11	8	11	9	7	9	12	6	11	7	8	8	107	8.9	-
通所ハビリ延数	304	346	348	318	293	302	303	304	287	293	305	309	3,712	309.33	-
介護	292	333	328	299	276	272	274	276	259	267	278	280	3,434	-	92.5%
予防	12	13	20	19	17	30	29	28	28	26	27	29	278	-	7.5%
実施日数	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	25	26	310	-	-
平均	12.2	12.8	13.4	12.2	10.9	11.6	11.7	11.7	11.0	12.2	12.2	11.9	12.0	-	-
利用率	61%	64%	67%	61%	54.5%	58.0%	58.5%	58.5%	55.0%	61.0%	61.0%	59.5%	60.0%	-	-
訪問ハビリ延数	12	14	13	13	14	13	13	14	13	14	13	10	156	13.0	-
利用者実人数	3	3	4	4	3	4	4	3	4	3	4	2	41	3.4	-
居宅介護支援延数	72	74	73	69	69	67	68	64	62	65	66	64	813	67.8	-
介護	69	70	69	65	65	63	66	63	62	65	66	64	787	-	-
予防	3	4	4	4	4	4	2	1	0	0	0	0	26	-	-

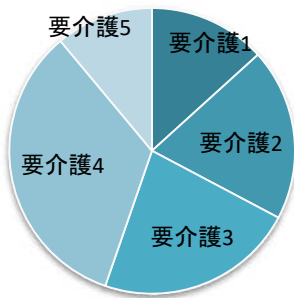
令和5年度 介護度別利用状況

(令和6年3月末現在)

【入所・短期入所】 介護度別利用者数

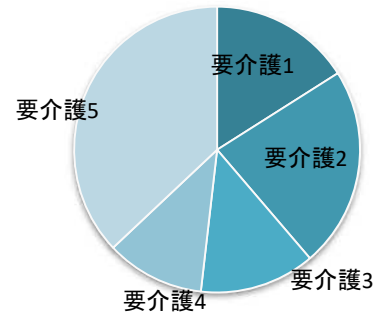
	年平均	比率
要介護1	17	13.2%
要介護2	25	19.5%
要介護3	29	22.5%
要介護4	43	33.6%
要介護5	14	11.1%
平均	3.10	

※月末時点



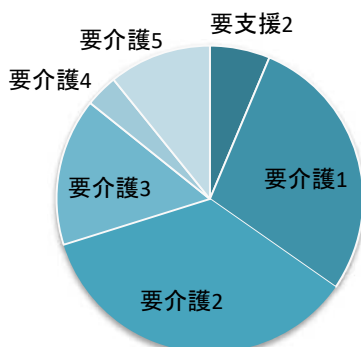
【短期入所療養介護】 介護度別利用日数

	年合計	比率
要支援1	0	0.0%
要支援2	0	0.0%
要介護1	105	16.0%
要介護2	149	22.7%
要介護3	86	13.1%
要介護4	73	11.1%
要介護5	243	37.0%
R5年合計	656	



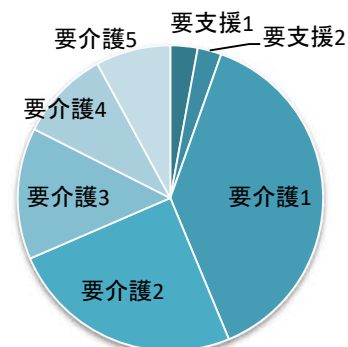
【(介護予防)通所リハ】 介護度別通所回数

	年合計	比率
要支援1	45	1.2%
要支援2	233	6.3%
要介護1	1,040	28.0%
要介護2	1,300	35.0%
要介護3	572	15.4%
要介護4	126	3.4%
要介護5	396	10.7%
R5年合計	3,712	



【居宅介護支援】 介護度別利用者数

	年平均	比率
要支援1	2.0	3.0%
要支援2	1.8	2.6%
要介護1	26.6	39.2%
要介護2	17.2	25.3%
要介護3	9.7	14.3%
要介護4	6.7	9.8%
要介護5	5.5	8.1%
R5年合計	67.8	



ケアハウス エスペランザ

1. 施設概要

施設所在地	福岡市博多区金の隈 3-24-53
施設長氏名	庄山 和子
事業開始年月日	平成 8 年 4 月 26 日
実施事業・定員	軽費老人ホーム（定員 150 名）

2. 沿革

平成 8 年 4 月 5 日	ケアハウス エスペランザ 認可
平成 8 年 4 月 26 日	ケアハウス エスペランザ 開設

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

入居者数は月平均 141.9 名/150 名(毎月末時点)、入居率 94.6%であった。年間の新規入居は 22 名と前年に比べ 8 名増加しているが、退居者数が 25 名で前年に比べ 9 名増加している。退居先は病院が 5 名、死亡が 5 名、法人内老人保健施設（フラワーハウス博多）に入所が 11 名、自宅が 1 名、有料老人ホームが 3 名だった。

年度末時点の平均年齢は、84.15 歳（男性 81.27 歳、女性 85.22 歳）で、最高齢は女性の 102 歳である。

介護認定率は年度末時点 67.9%で、前年度に比べて 2.6%下がっているが、要支援 2 の割合が増加している。介護サービス別では、訪問介護の利用者が約 59 名、福祉用具貸与されている方が 69 名とこちらも前年比で減少しており、通所リハ、訪問リハの割合が増えている。今後も居宅サービス事業所と連携しながら、入居者が安全で安心して生活できるよう支援していく。

(2) 運営報告

① 会議・委員会活動報告

すべての会議・委員会において多職種で構成し、情報の共有を図っている。特に、新規入居受入時、入居者の介護プラン変更時、入居者間のトラブル等生じた際など、入居者の情報をすぐに共有する必要がある場合は、事故等が発生しないよう都度開催している。

② 行事実施報告

○ラジオ体操(毎日)※新型コロナウイルス陽性者発生時、療養期間終了まで中止

○敬老会は感染状況を鑑みて敬老式典と特別食の実施としたが、納涼祭は特別食の他、射的を行い、忘年会の催しについては、入居者出し物やビンゴゲームなどコロナ禍以前に行っていた内容を実施し、入居者に喜んでいただいた。

○レクリエーション(毎月)

レクリエーションについてもピアノ演奏会や、職員が参加するゲームを行うことで参加者も大幅に増え、生活上の楽しみにつながっている。

③ 研修実施報告

福祉レクリエーション・新任職員研修、高齢者虐待防止・権利擁護研修・救命救急研修・苦情解決従事者研修等、外部の研修に参加した他、法定研修については新しくオンラインを活用したサービスを活用することで充実化を図った。研修参加後は、施設内において全職員で勉強会を開催し、情報の共有を図った。役職者については法人全体でリーダー研修が行われ、研修内容を現場に還元することで組織全体の活性化につながっている。

④ 苦情

・発生件数 11 件 解決件数 11 件

第三者委員会へ報告する事案はなし。

昨年と比べて3件増加している。苦情の多くが利用者間のトラブルによるもので、都度職員が仲介することで解決につながっている。物品の破損についての苦情は、すぐに対応している。今後も職員間で情報共有・連携することで解決できるよう努めていく。

⑤ 事故報告（インシデント 18 件含む）

分類	転倒	転落	感染症	その他	計
件数	37 件	1 件	4 件	2 件	44 件

事故件数は、昨年の 47 件から 3 件減少した。事故種別は、今年度も「転倒」が多かったが、骨折に至る事故については昨年の 16 件から 6 件へと減少した。感染症については季節性インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症によるものでしたが、発生時期は異なり拡大することなく収束した。

事故件数は減少したが、居室での転倒が多く原因が不明確なものも多いため、職員間での情報共有、ケアマネやヘルパーなどと日頃よりしっかりコミュニケーションを図り、福祉用具を活用し再発防止に努めたい。

感染症に関しては年度初めに新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したが、状況に応じて感染防止の呼びかけ、消毒、換気、マスク着用の徹底等、入居者の予防意識を高めるための行動を行っており、全体として感染予防の意識は高く持っていただいている。

⑥ 地域交流・ボランティア

本部・洺寿園・フラワーハウス・エスペランザから職員が分担して、金の隈地区の美化活動等に参加している。今年度は地域住民と協力しての美化活動も再開しているため、地域の方に清風会を周知してもらい交流を図ってきたい。ボランティアについては、今年度は招くことができなかったが、次年度は

状況を確認しつつ招くことができるようにしていく。

⑦ その他

防災訓練について、今年度は9月(火災・消防訓練)、3月(土砂災害・消防訓練)共に実施し入居者へ避難経路について確認することができた。また、BCPの取組を開始しており万が一の事態に備えていく。

4. 総括

【利用者の今後の見通しと対策】

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、行事などの催しについて感染対策を講じながら徐々にコロナ禍以前の内容に戻している。また、面会も徐々に制限を緩和し、家族と接する時間も増えたことで、入居者全体の活気が少しずつ回復している印象を受ける。現に上記報告の通り、単年で見ると介護保険の認定割合や事故件数は維持・減少している。しかし、平均年齢は上昇し、身体機能の低下は見られる。新規入居については、申込が絶えず続いている状況のため、退居者数の減少が入居率向上につながると考えている。今年度よりフラワーハウスとの連携により身体機能の維持向上に向けた取組も始まり、エスペランザの催しも工夫して楽しめる内容を実施している。できることを最大限活用し、入居者の機能の維持向上、より良い生活につながるよう支援していく。

【職員状況の見通しと対策】

5年度は、年度途中で非常勤職員1名が加わり11名(正8非3)にての対応となっている。配置基準は満たしているものの、入居者への対応等を考慮すると正規職員の確保が課題であるが、採用につながっていない状況である。採用は本部と連携してWEBサイトの活用など工夫しているため、来年度は確実に採用につなげたい。夜間委託の警備員を含め、緊急時の対応など迅速に行うことができるようチームとしての意識を持ち支援にあたっていく。

【施設・設備の状況など】

今年度は居室のフローリング改装については、予定していた件数の施工が完了している。次年度も引き続き改装を進めていく。昨年度実施予定で本年度に繰越していた非常用自家発電設置工事も完了した。その他、経年劣化等による設備等の不備は随時修繕を行った。その中で、一時B棟エレベーターに異常が見られ半月程度入居者の生活に支障が出る事態となった。今後A棟エレベーターも含めてリニューアルを検討していく。

【参考資料】 令和5年度統計資料

ケアハウス エスペランザ

①施設利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間延数	月平均	比率
月末利用者数	141	143	143	144	144	144	144	141	140	141	141	137	1,703	141.9	-
男性	39	40	40	41	41	40	39	38	39	39	39	37	472	39.3	27.7%
女性	102	103	103	103	103	104	105	103	101	102	102	100	1,231	102.6	72.3%
入居率 (%)	94.0	95.3	95.3	96.0	96.0	96.0	96.0	94.0	93.3	94.0	94.0	91.3	1,135	94.6	-

新規入居者数	3	5	3	2	2	2	2	0	1	2	2	2	25	2.1	-
自宅	2		2	2					1	2			12	-	48.0%
医療機関	1	2	1		1								5	-	20.0%
ケアハウス													0	-	0.0%
有料老人ホーム・サ高住		2			1								4	-	16.0%
介護老人保健施設(777-)		1											1	-	4.0%
特別養護老人ホーム													0	-	0.0%
居室移動								1				2	3	-	12.0%

退居者数	2	2	3	1	2	3	1	2	4	3	0	2	29	2.4	-
自宅			1										1	-	3.4%
医療機関		2							1	1		1	5	-	17.2%
有料老人ホーム・サ高住			1						1				3	-	10.3%
グループホーム・養護老人ホーム													0	-	0.0%
特別養護老人ホーム													0	-	0.0%
介護老人保健施設(777-)	2		1	1	1				1	1	2		11	-	37.9%
介護老人保健施設(法人外)					1								0	-	0.0%
死亡										1		1	5	-	17.2%
居室移動						1			1			2	4	-	13.8%

②要介護認定状況【月別平均人数】

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認定率
30.8	31.1	23.0	8.7	4.8	0.4	0.0	69.6%

③介護サービス利用状況【月別平均利用者数】

訪問介護	59.6人
訪問看護	4.0人
通所リハ	19.6人
通所介護	16.4人
訪問リハ	7.8人
福祉用具貸与	69.1人

特別養護老人ホーム 東かなまち桜園

1. 施設概要

施設所在地	東京都葛飾区東金町 2-13-10
施設長氏名	山岡 寿
事業開始年月日	平成 25 年 4 月 1 日
実施事業・定員	介護老人福祉施設（定員 140 名） （介護予防）短期入所生活介護（定員 20 名）

2. 沿革

平成 25 年 3 月 29 日	特別養護老人ホーム東かなまち桜園 認可
平成 25 年 4 月 1 日	特別養護老人ホーム東かなまち桜園 開園
平成 25 年 3 月 25 日	（介護予防）短期入所生活介護事業所認可
平成 25 年 4 月 1 日	（介護予防）短期入所生活介護事業所開園
平成 28 年 6 月 15 日	喀痰吸引等事業者（登録特定行為事業者） 登録

3. 事業経過

（1）施設利用状況

① 介護老人福祉施設

年間利用者延数は 47,714（1 日平均 130.4 人／利用率 93.1%）となり、前年度より 4,763 人増となった。新規入居者数 42 名に対し、退居者数は 38 名で、前年度末から在籍数が増加していたため新規入居者数と退居者数に大きな差はない。稼働率は目標としていた 90%を超え、開設以来、最高レベルの稼働率を達成することができた。最優先課題であった入居者確保についてはクリアできたと考えている。

入居者増の要因は、昨年度後半に法人内からの人的支援によりユニット再開に取り組み、受入れ可能な入居者が増えたことと、空きベッドをなくし在籍者満床への取り組みを強めたためである。

令和 6 年度も、在籍者満床の継続を意識して入居者の確保に努めるとともに、入居者が健康を維持し、安心した生活を送れるよう状態観察や事故防止のレベルアップを図っていく。

②（介護予防）短期入所生活介護事業

年間利用者延数は 5,848 人（1 日平均 20 人／利用率 80%）となり、前年度より人増となった。リピーターの増加や緊急ショート of の積極的な受入れも利用者増の要因である。

令和 6 年度は、特養の満床が続けば入居待機者が増える見込みであるため、待機者をショートステイで受け入れ、特養のスムーズな入居に繋げられるよう連携を図っていく。

(2) 運営報告

① 会議・委員会活動報告

運営会議をはじめとして、リーダー会議、ユニット会議のほか各委員会を設置している。各会議・委員会は、多職種の職員で構成されており、議事録は全職員が閲覧出来るようにして情報共有を図っている。

② 行事実施報告

レク・行事委員会を中心に、年間の行事計画を立案し、活動を行っている。令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したため、夏祭りや敬老会を開催することができた。感染症に十分注意し、各ユニットで工夫を凝らして行事活動を行い、入居者に喜んでいただけた。

③ 研修実施報告

施設内研修は、オンラインの法定研修を導入し、職員各自で研修動画を視聴して各テーマの知識を深め、レベルの向上を図った。法人主催のリーダー研修にリーダークラスの職員が参加し、リーダースキルの習得に努めている。

④ 苦情

・受付件数 1件

法人や苦情第三者委員への報告には至らなかったが、食品管理・衛生管理・職員の対応に関して家族からの苦情があった。

⑤ 事故報告

・行政報告事故 20件

(骨折事故 18件、異食 2件)

行政報告件数は前年度よりも10件減(うち4件は新型コロナウイルス感染症報告)、骨折事故件数は18件となり前年度より1件減だったが事故件数としては圧倒的に多い。骨粗しょう症により骨がもろくなり、骨折しやすい入居者が増えてきており、移動介助の際には十分に注意する必要がある。

職員の不注意や確認不足に起因する事故については、事故の原因を究明し、再発防止につとめていく。

⑥ 地域交流

今年度は金町第一団地の夏祭りが復活し、数名の入居者が参加することができた。

その他の地域交流としては、施設内の地域交流室を利用した地域包括支援センター主催の勉強会や、認知症高齢者家族会、地域の研修会等行われている。

⑦ ボランティア

感染対策を徹底し、地域の中学生の職場体験と教員を目指す大学生の介護等体験を受け入れた。入居者との直接的な触れ合いはできなかったが、特別養護老人ホームがどのような職場であるか、感じてもらうことができた。

4. 総括

事業実績と課題への対応

令和5年度の稼働率は、前年度を大きく上回り、特養と短期入所を合わせて91.5%となり目標の90%を達成することができた。

特養の在籍者数も多少変動はあるものの、令和5年7月以降137名から140名を推移しており、入居契約済みの待機者も複数名あり安定した状況である。今後、不測の事態が起きることもあり楽観的に見ることはできないが、現状では新規入居者を急いで確保する必要はなく、入居申込から契約までの期間をさらに効率化していきたい。

稼働率の向上により収入の状況も大きく改善され、前年度と比較し8,170万円増となったが、それでも支出超過となっている。

支出で大きな割合を占める人件費抑制と介護職員の採用が厳しい状況のため、フロアリーダー制を取り入れ介護職員の配置をユニット固定配置を基本としつつ、フロア単位で介護職員を柔軟に対応させ人員の効率化を図ることとした。フロアリーダー制の導入やフロア単位での介護職員のサポート体制の構築は概ね良好な結果であると考えが、介護職員の確保はかなり困難な状況にあり、令和5年度当初予定していた介護職員の必要数が確保できていない。年度途中から新規採用者に対して、採用初日から3日間かけて各部門協力のもと新入職員オリエンテーションを行うこととし、新規採用職員の定着率の向上を図ることとした。今後はICTや介護ロボットの活用により生産性の向上を図り少ない人数で質の良い介護サービス提供ができる環境をつくること、また、介護未経験者や外国人を採用することで介護職員の確保を図りたい。

法人本部主催のリーダー研修は、介護主任、フロアリーダーの資質向上に寄与することとなり効果があったと考える。今後は対象を広げ、リーダー層の職員の資質向上をはかり、人材育成や職場の活性化につながればと考える。

ここ2、3年は施設の老朽化による修繕費や備品購入に費用がかさみ、予期せぬ支出が増加している。今後数年はこのような状況が続くと考えられるが、現状ではその都度対応するしかない状況である。

令和5年度決算では、黒字決算となっているが、拠点間区分繰入金40,000,000円がなければ、収入が大幅に増加したといえどもやはり赤字である。今後は高稼働率を維持しつつ、人件費の削減や経費の効率化をはかり、自立した施設経営・施設運営を目指すとともに、職員にとって働きやすく、地域に根ざし、地域から必要とされる施設として存在したい。

①施設利用状況（入所及び退所・月別延べ入所率）

	月間入所者数				月間退所者数					月間延べ入所者数	平均入所率（%）
	家庭	施設	病院	計	家庭	施設	病院	死亡	計		
4	3			3			3	2	5	3,668	87.3
5	2	2	2	6				3	3	3,957	91.2
6	2	2		4				2	2	3,876	92.3
7	1	2		3			2	4	6	4,005	92.3
8	4			4				3	3	3,911	90.1
9	2	1	1	4				4	4	3,881	92.4
10	4	2	1	7				4	4	4,063	93.6
11	1	1		2			1		1	4,014	95.6
12	1	1	1	3			1	1	2	4,181	96.3
1	1	1	1	3				3	3	4,153	95.7
2	1			1				1	1	3,880	95.6
3	1	1		2				4	4	4,125	95.0
計	23	13	6	42	0	0	7	31	38	47,714	93.1

②施設利用状況（入所期間）

区分	男（人）	女（人）	計（人）
1年未満	6	29	35
1～2年未満	9	23	32
2～3年未満	5	15	20
3～4年未満	3	12	15
4～5年未満	1	6	7
5～6年未満	3	5	8
6～7年未満	0	5	5
7～8年未満	0	3	3
8～9年未満	0	2	2
9～10年未満	1	2	3
10年以上	1	6	7
計	29	108	137

③施設利用状況（年齢別）

区分	男（人）	女（人）	計（人）
60歳未満	2		2
60歳～64歳			0
65歳～69歳	4		4
70歳～74歳	2	4	6
75歳～79歳	2	5	7
80歳～84歳	9	19	28
85歳～89歳	5	43	48
90歳～94歳	3	19	22
95歳～99歳	1	15	16
100歳～	1	3	4
合計	29	108	137
平均年齢	80.0	88.8	86.8
最高年齢	102	105	

④施設利用状況（介護度別）

要介護度	男（人）	女（人）	計（人）
要介護1	0	1	1
要介護2	2	5	7
要介護3	11	43	54
要介護4	14	32	46
要介護5	1	28	29
合計	28	109	137
平均	3.5	3.7	3.7

⑤保険者別数

保険者	男（人）	女（人）	計（人）
葛飾区	26	103	129
江東区	1		1
足立区		3	3
墨田区			0
千葉市若葉区			0
柏市			0
三郷市	1	2	3
八潮市		1	1
計	28	109	137

⑥健康保険の加入状況

保険の種類	男（人）	女（人）	計（人）
後期高齢者	18	102	120
国民健康保険	5	3	8
社会保険		1	1
医療扶助	2	6	8
組合			0
計	25	112	137

⑦身体障がい者手帳所持状況（人）

※重複を含む

等級	1級		2級		3級	
	男	女	男	女	男	女
視覚						
聴覚						
四肢体幹	4	1	2	2	1	5
内部	1	3		1		
男女別計	5	4	2	3	1	5
計	9		5		6	

等級	4級		5級		6級	
	男	女	男	女	男	女
視覚						1
聴覚						
四肢体幹		4		1		
内部		1				
男女別計	0	5	0	1	0	1
計	5		1		1	

①施設利用状況（入所・月別延べ入所率）

	月間入所者数			月間延べ 入所者数	平均入所 率（％）	平均 介護度	平均 年齢
	新規	既存	計				
4	5	50	55	452	75.3	3.5	85.0
5	9	53	62	503	81.1	3.4	85.0
6	6	54	60	472	78.7	3.51	86.6
7	12	55	67	519	83.7	3.39	85.9
8	4	54	58	527	85.0	3.35	85.9
9	12	47	59	509	84.8	3.43	86.1
10	6	54	60	504	81.3	3.45	85.6
11	5	56	61	474	79.0	3.39	85.2
12	6	57	63	483	77.9	3.28	84.8
1	4	47	51	443	71.5	3.48	84.9
2	4	48	52	467	80.5	3.36	84.6
3	5	55	60	495	79.8	3.28	84.8
計	78	630	708	5,848	79.9	3.4	85.4

②介護度別利用日数

区分	年合計（日）	比率（％）
要支援1	4	0.1
要支援2	9	0.2
要介護1	156	2.7
要介護2	687	11.7
要介護3	2,359	40.3
要介護4	1,502	25.7
要介護5	1,131	19.3
合計	5,848	100

社会福祉法人清風会 保育園 月別利用状況

令和5年度

施設名	区分	定員	利用状況												平均		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
御幸	保育園	300	292	292	295	301	305	305	305	305	305	303	305	305	305	305	301.5
	利用率		97.3%	97.3%	98.3%	100.3%	101.7%	101.7%	101.7%	101.7%	101.7%	101.0%	101.7%	101.7%	101.7%	101.7%	100.5%
五十川	小規模 家庭的	15	9	7	8	8	8	10	10	13	13	13	13	13	13	13	10.4
	利用率		60.0%	46.7%	53.3%	53.3%	53.3%	66.7%	66.7%	86.7%	86.7%	86.7%	86.7%	86.7%	86.7%	86.7%	69.4%
五十川	保育園 (分園含)	309	301	304	306	308	307	308	308	309	308	308	307	308	307	306	306.7
	利用率		97.4%	98.4%	99.0%	99.7%	99.4%	99.7%	99.7%	100.0%	99.7%	99.7%	99.4%	99.7%	99.4%	99.0%	99.2%
香住ヶ丘	小規模	27	21	20	20	20	22	23	23	23	23	24	24	24	24	24	22.3
	利用率		77.8%	74.1%	74.1%	74.1%	81.5%	85.2%	85.2%	88.9%	88.9%	88.9%	85.2%	88.9%	85.2%	88.9%	82.7%
香住ヶ丘	保育園 (分園含)	324	310	314	317	319	320	320	319	320	319	320	321	321	321	321	318.5
	利用率		95.7%	96.9%	97.8%	98.5%	98.8%	98.8%	98.5%	98.8%	98.5%	98.8%	99.1%	99.1%	99.1%	99.1%	98.3%
大塚第一	保育園	130	105	107	108	108	109	114	116	124	126	126	128	129	129	129	116.9
	利用率		80.8%	82.3%	83.1%	83.1%	83.8%	87.7%	89.2%	95.4%	96.9%	96.9%	98.5%	99.2%	99.2%	99.2%	89.9%
大塚第二	保育園	130	109	112	114	115	118	121	122	123	129	129	127	129	129	129	120.7
	利用率		83.8%	86.2%	87.7%	88.5%	90.8%	93.1%	93.8%	94.6%	99.2%	99.2%	97.7%	99.2%	99.2%	99.2%	92.8%
日の里東	保育園	160	152	154	155	155	156	155	157	159	160	160	159	159	159	159	156.7
	利用率		95.0%	96.3%	96.9%	96.9%	97.5%	96.9%	98.1%	99.4%	100.0%	100.0%	99.4%	99.4%	99.4%	99.4%	97.9%
平等寺	保育園	200	170	172	171	171	174	172	171	172	172	172	172	172	173	171	171.8
	利用率		85.0%	86.0%	85.5%	85.5%	87.0%	86.0%	85.5%	86.0%	86.0%	86.0%	86.0%	86.0%	86.5%	85.5%	85.9%
東かなまち	保育園	130	121	123	124	124	125	130	129	130	130	130	130	130	130	130	127.2
	利用率		93.1%	94.6%	95.4%	96.2%	96.2%	100.0%	99.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.8%
合計		1,725	1,590	1,605	1,618	1,629	1,644	1,658	1,660	1,679	1,685	1,687	1,687	1,689	1,687	1,687	1,652.6
			92.2%	93.0%	93.8%	94.4%	95.3%	96.1%	96.2%	97.3%	97.7%	97.8%	97.8%	97.9%	97.8%	97.8%	95.8%

在園児 月間集計表

【御幸保育園】

	本園						家庭的保育事業 てんとうむし			小規模保育所 クローバー			合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	2歳	0歳	1歳	2歳	
	定数	30	52	53	55	55	55	1	2	2	2	4	
4月	17	52	52	57	57	57	0	2	2	0	2	3	301
5月	17	52	52	57	57	57	0	0	2	0	2	3	299
6月	20	52	52	57	57	57	0	2	4	0	0	2	303
7月	26	52	52	57	57	57	0	2	4	0	0	2	309
8月	30	52	52	57	57	57	0	2	4	0	0	2	313
9月	30	52	52	57	57	57	0	2	4	1	1	2	315
10月	30	52	52	57	57	57	0	2	4	1	1	2	315
11月	30	52	52	57	57	57	1	3	4	1	1	3	318
12月	30	51	51	57	57	57	1	3	4	1	2	3	317
1月	30	52	52	57	57	57	1	3	4	1	2	2	318
2月	30	52	52	57	57	57	1	3	4	1	2	2	318
3月	29	52	52	56	57	57	1	3	4	1	2	2	316
月平均	26.6	51.9	51.9	56.9	57.0	57.0	0.4	2.3	3.7	0.6	1.3	2.3	311.8
利用率	88.6%	99.8%	98.0%	103.5%	103.6%	103.6%	41.7%	112.5%	183.3%	29.2%	31.3%	58.3%	99.0%

【五十川保育園】

	本園						分園		小規模保育所			合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	竹下	那珂	中央	
定数	21	40	48	60	60	60	9	11	9	9	9	336
4月	21	40	51	60	59	58	1	11	8	7	6	322
5月	21	40	51	60	60	58	3	11	8	7	5	324
6月	21	40	51	60	60	58	5	11	8	7	5	326
7月	21	40	51	60	60	58	8	11	8	7	5	329
8月	20	40	51	60	59	58	9	10	8	7	7	329
9月	21	40	51	60	58	58	9	11	8	8	7	331
10月	21	40	50	60	59	58	9	11	7	8	8	331
11月	21	40	51	60	59	58	9	11	8	8	8	333
12月	21	39	51	60	59	58	9	11	8	8	8	332
1月	21	40	51	60	59	58	9	11	8	8	8	333
2月	21	40	50	60	59	58	9	10	9	7	8	331
3月	21	40	49	60	59	58	9	10	8	8	8	330
月平均	20.9	39.9	50.7	60.0	59.2	58.0	7.4	10.8	8.0	7.5	6.9	329.3
利用率	99.6%	99.8%	105.6%	100.0%	98.6%	96.7%	82.4%	97.7%	88.9%	83.3%	76.9%	98.0%

在園児 月間集計表

【香住ヶ丘保育園】

	本園						分園		合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	0歳	1歳	
定数	20	40	54	62	62	62	12	12	324
4月	15	42	60	60	58	60	2	13	310
5月	17	42	59	60	58	61	3	13	313
6月	17	42	60	61	59	61	4	13	317
7月	18	42	59	61	60	61	5	13	319
8月	18	42	60	61	60	61	5	13	320
9月	18	42	60	61	60	61	5	13	320
10月	18	42	60	60	60	61	5	13	319
11月	18	42	60	61	60	61	5	13	320
12月	18	42	60	61	60	61	5	13	320
1月	18	43	60	62	59	61	5	13	321
2月	18	43	60	62	59	61	5	13	321
3月	18	43	60	62	59	61	5	13	321
月平均	17.6	42.3	59.8	61.0	59.3	60.9	4.5	13.0	318.4
利用率	87.9%	105.6%	110.8%	98.4%	95.7%	98.3%	37.5%	108.3%	98.3%

【日の里東保育園】

	本園						合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定数	12	28	30	30	30	30	160
4月	6	27	29	30	30	30	152
5月	7	27	30	30	30	30	154
6月	7	28	30	30	30	30	155
7月	8	28	30	29	30	30	155
8月	9	28	30	29	30	30	156
9月	9	27	30	29	30	30	155
10月	9	28	30	30	30	30	157
11月	11	28	30	30	30	30	159
12月	12	28	30	30	30	30	160
1月	12	28	29	30	30	30	159
2月	12	28	29	30	30	30	159
3月	12	28	29	30	30	30	159
月平均	9.5	27.8	29.7	29.8	30.0	30.0	156.7
利用率	79.2%	99.1%	98.9%	99.2%	100.0%	100.0%	97.9%

【平等寺保育園】

	本園						合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定数	12	26	30	44	44	44	200
4月	10	29	30	30	34	37	170
5月	12	29	30	30	34	37	172
6月	12	28	30	30	34	37	171
7月	12	28	30	30	34	37	171
8月	14	29	30	30	34	37	174
9月	14	29	29	30	33	37	172
10月	14	28	29	30	33	37	171
11月	14	29	29	30	33	37	172
12月	14	29	29	30	33	37	172
1月	14	29	29	30	33	37	172
2月	15	29	29	30	33	37	173
3月	15	27	29	30	33	37	171
月平均	13.3	28.6	29.4	30.0	33.4	37.0	171.8
利用率	111.1%	109.9%	98.1%	68.2%	75.9%	84.1%	85.9%

在園児 月間集計表

【東かなまち保育園】

	本園						合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定数	12	20	24	24	25	25	130
4月	6	19	23	24	25	24	121
5月	7	20	23	24	25	24	123
6月	7	20	23	24	25	25	124
7月	7	20	23	24	25	25	124
8月	7	20	24	24	25	25	125
9月	12	20	24	24	25	25	130
10月	12	20	24	23	25	25	129
11月	12	20	24	24	25	25	130
12月	12	20	24	24	25	25	130
1月	12	20	24	24	25	25	130
2月	12	20	24	24	25	25	130
3月	12	20	24	24	25	25	130
月平均	9.8	19.9	23.7	23.9	25.0	24.8	127.2
利用率	81.9%	99.6%	98.6%	99.7%	100.0%	99.3%	97.8%

【大塚第一保育園】

	本園						合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定数	9	20	23	26	26	26	130
4月	10	19	11	21	17	27	105
5月	10	19	13	21	17	27	107
6月	11	19	13	21	17	27	108
7月	11	19	13	21	17	27	108
8月	12	19	13	21	17	27	109
9月	13	19	15	22	18	27	114
10月	13	19	15	22	20	27	116
11月	15	21	15	23	20	30	124
12月	15	23	15	23	20	30	126
1月	15	23	16	23	21	30	128
2月	15	24	18	22	21	29	129
3月	15	24	18	22	21	29	129
月平均	12.9	20.7	14.6	21.8	18.8	28.1	116.9
利用率	143.5%	103.3%	63.4%	84.0%	72.4%	108.0%	89.9%

【大塚第二保育園】

	本園						合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
定数	9	20	23	26	26	26	130
4月	9	14	18	19	21	28	109
5月	9	15	19	19	21	29	112
6月	11	15	18	19	22	29	114
7月	11	16	18	19	22	29	115
8月	13	16	18	19	23	29	118
9月	15	17	18	19	23	29	121
10月	15	18	18	19	23	29	122
11月	15	19	18	19	23	29	123
12月	15	22	20	19	23	29	128
1月	15	22	19	19	23	29	127
2月	15	24	19	19	23	29	129
3月	15	24	19	19	23	29	129
月平均	13.2	18.5	18.5	19.0	22.5	28.9	120.6
利用率	146.3%	92.5%	80.4%	73.1%	86.5%	111.2%	92.8%

御幸保育園

1. 施設概要

施設所在地	福岡市東区千早 6-8-14
施設長氏名	松本 美和
事業開始年月日	昭和 51 年 5 月 1 日
実施事業・定員	保育所（定員 300 名） 小規模保育事業（定員 10 名） 家庭的保育事業（定員 5 名）

2. 沿革

昭和 51 年 5 月	御幸保育園 開設許可・事業開始
昭和 51 年 4 月	100 名定員
昭和 54 年	150 名定員に変更
平成 5 年 6 月 1 日	170 名定員に変更
平成 12 年	増築・大型改修 225 名定員に変更
平成 15 年 2 月	御幸保育園保母休息室改修
平成 17 年 3 月	御幸保育園 0 歳児のトイレ改修
平成 25 年	園舎増改築工事
平成 26 年	園舎改築工事完成(27 年 2 月 23 日新園舎)
	265 名定員に変更
平成 30 年度	300 名定員に変更

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

令和 5 年度は、本園・小規模保育・家庭的保育と合計して、月平均 312 名(利用率:99.0%)の園児を受け入れ、年間を通してほぼ安定した園児数を確保することができました。本園は月平均 302 名(利用率 100.4%)の園児を受け入れました。4 月当初 0 歳児クラスが 30 人の定員に対し、17 名での受け入れになり 0 歳児の受け入れの厳しさを痛感しました。小規模保育事業は、5 名スタートで月平均 6.6 名(利用率 60%)、家庭的保育事業も 4 名スタートで月平均 3.7 名(74%)でした。小規模・家庭的は令和 5 年度においては順調に園児を確保できました。

(2) 運営報告

① 会議・委員会活動報告

職員会議、小規模会議をはじめとし、保育に関しては、未満児クラス、以上児クラスともに年度初めより定期的に保育の質の向上のため話し合いを行いその都度、改善を行いました。また、給食室会議、主任・副主任会議など短時間で会議を行い、改善や決定事項を実施できるようにしました。

② 行事・広報実施報告

令和 5 年度は、コロナ禍前と同様に行事を開催することが出来ました。コロナ禍で行った行事の良さは残しつつ、人数制限なしでの開催を実施することができました。

また、昨年度に引き続きインスタグラムに重点を置き、園児の日常生活をアップしました。

③ 研修実施報告

専門的な保育の知識習得、「保育の質」向上のため、外部研修の参加やオンライン研修を利用し、多くの職員が参加できるようにしてきました。また、不適切保育については、セルフチェックの実施、全職員対象に小グループで事例を基に「子どもの人権」「人格の尊重」を研鑽し不適切保育に関する認識の共有に努めました。

④ 苦情

・発生件数 0件

問題になるような苦情はありませんでした。

⑤ 事故報告

・福岡市に報告する様な、大きな事故はありませんでした。

⑥ 地域交流・ボランティア

令和5年度は地域の秋祭りや催しが開催され参加することができ、地域との交流が復活してきました。今年度初めて商業施設での催しに参加することができ、新たな交流機会にも恵まれました。

子育てサークルでは、少人数ですが定期的に参加してくださる方もおり、毎月ほぼ2回の開催が実施できました。見学にお見えになった方に、子育てサークルの日程表を配布するなどして積極的にアピールを行いました。

4. 総括

令和5年度は、小規模・家庭的保育での入所が多く保育士を途中で異動するなど今までにない対応になりました。本園では0歳児クラスが17名と少ないスタートで心配されたが、7月には定員に達し、その後も見学が多く入所待ちとなった。近隣にマンション建設などが進んでおり、今後、入所園児の確保に期待が持てそうです。見学者にアプローチを行い、園児確保に向けてしっかり取り組んでいきます。

保育に関しては、日頃より専門的な保育の習得の研鑽、職員の共通理解が少しずつなされ、「子ども主体」の保育、丁寧な保育を心がけるよう取り組んでいます。

常に「雑な保育」になっていないか？子どもの人権に配慮した保育について保育士一人一人の認識できているか？不適切保育に関する認識の差異はないか？などを職員間の認識のズレをなくし、子どもにとって手厚い・丁寧な保育が行われるように努めています。

今年度、職員の引越しや体調不良などでの退職が重なり入退職が多い年でした。年間を通し、職員募集をしたが採用に至らず、また産休・育休に入る職員もあり、余裕を持った職員配置や有休の対応が難しくなっていました。定期的の実習生の受け入れを行いましたが高齢採用に繋がることが出来ず令和6年度の職員採用も厳しい状況となりました。しかし、養成校の訪問で少し繋がりができ、イベントの招待などしていただき、このご縁を生かしていきたいと思えます。そして、職員が働きやすい職場づくりを行います。一つ一つ課題を改善し、子ども達・職員・保護者が協力し、元気に楽しく共に育ちいく施設を目指していきます。

日の里東保育園

1. 施設概要

施設所在地	宗像市日の里 5-3-1
施設長氏名	伊藤 紀子
事業開始年月日	昭和 51 年 4 月 1 日
実施事業・定員	保育所（定員 160 名）

2. 沿革

昭和 51 年 4 月	日の里東保育園 開設認可・事業開始定員 60 名・
昭和 51 年 9 月	定員変更許可申請 定員 120 名
平成 11 年 3 月	2 階保育室 3 部屋改修・ホール・沐浴室等設置
平成 12 年 3 月	1 階保育室 3 部屋改修
平成 13 年 10 月	事務所・厨房等改修工事
平成 21 年 3 月	園庭門扉改修工事
平成 22 年	2 階園児用便所改修工事・建物壁面塗装工事
平成 23 年 2 月	避難滑り台設置工事
平成 25 年	外壁フェンス・園庭・フェンス塗装改修工事
平成 26 年	園舎改築工事・園舎完成
平成 27 年 4 月	定員 160 名に変更

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

令和 5 年度 4 月の園児数は標準時間保育 141 名、短時間保育 11 名、合計 152 名、前年度と同数でのスタートとなりました。11 月より 0 歳園児が増え、年間の利用状況は、97.9%となった。

(2) 運営報告

① 会議・委員会活動報告

月 1 回の職員会議、給食会議で情報の共有を図り、必要に応じその都度臨時的に会議の場を設けるようにしました。クラス運営会議・行事準備・危機管理会議・コドモン運営会議は職員が責任者となり進めていきました。

② 行事実施報告

縮小していた行事は再開し、開催方法としてスムーズにできた点はそのまま継続するようにしました。姉妹園合同で保護者研修会も実施することができ保護者の方にも好評でした。

③ 研修実施報告

リモート研修が多く、録画配信されるため繰り返し動画を視聴することができ振り返りができた。その反面、集合研修が少なく、実技を学ぶ機会が少なかった。

④ 苦情（1件）

保護者より担任保育士の対応について1件苦情がありました。

今回、保護者とのコミュニケーション不足から大きな問題となったため、日頃よりコミュニケーションをとるよう心掛け、同じことが起こらないよう気を付けていきたい。

⑤ 事故報告（0件）

⑥ ボランティア・地域交流

今年度は社会福祉協議会の担当園となり、テーマに沿った絵を描いてコンクールに出展し、受賞することができました。小学校との交流は、町探検で2年生を受け入れ、当園からは年長児が小学校へと訪問し、校舎の見学をさせてもらい小学校への進学がスムーズにいくように取り組みました。

4. 総括

令和5年度は延べ1,880名、月平均では156名となり昨年度を2名下回った数字となりました。新規職員は新卒者1名を採用しました。産休・育休の保育士が2名おり代替職員の獲得はできず、余裕の無い職員体制となりました。

当園は絵本を通して言葉や感情が豊かになるように、たくさんの本の読み聞かせを行うように努めています。ルールや人を思いやる気持ちや挨拶言葉などを小さなクラスの子も覚え発し、自分で本を選びページをめくるようになっていきます。発表会の劇も絵本から選び楽しんで参加することができました。

地域との交流は、月1回の地域開放事業で未就園児を迎え、園の行事と一緒に参加する機会を設け園児との交流を持つことができるようにしました。参加者の中には次月の地域開放日の予約をして帰宅される方や、子育ての悩みを相談される方もおられ、園が頼りになる場であったことがうかがえました。高齢者との交流としては、花の苗と一緒にプランターに植え歩道の脇に設置したり、老人会の方を園に呼びゲームをしたり歌やダンスの披露し、喜んでいただきました。

宗像市にある社会福祉法人施設（高齢者・障害児・児童）とは、月1回の会議と合同研修会の開催で学びを深め、地域のためにできることを行っていくという取り組みを続けています。次年度は、合同で就職説明会を開催することを目標としています。

今後も園の自己評価、職員は月1回のセルフチェック、年1回の自己評価で振り返りを行い保育の資質向上に努めて選ばれる保育園づくりをこれからも行っていききたいと思います。

五十川保育園

1. 施設概要

施設所在地	福岡市博多区諸岡 3-22-7
施設長氏名	山下 裕子
事業開始年月日	昭和 53 年 4 月 1 日
実施事業・定員	保育所（定員 289 名） 分園 第二五十川保育園（定員 20 名） 小規模保育事業 ・キッズルーム那珂 （定員 9 名） ・キッズルーム那珂中央（定員 9 名） ・キッズルーム竹下 （定員 9 名）

2. 沿革

昭和 52 年 9 月 6 日	社会福祉法人 北栄会 設立登記日
昭和 53 年 2 月 17 日	社会福祉法人 北栄会 設立認可 事業開始
昭和 53 年 4 月 11 日	定員 100 名
昭和 61 年 4 月 1 日	定員 120 名に変更
昭和 62 年 1 月 1 日	定員 140 名に変更
平成 5 年 4 月 1 日	定員 170 名に変更
平成 11 年 4 月 1 日	定員 200 名に変更
平成 23 年 9 月 1 日	家庭的保育室 2 部屋開所
平成 24 年 5 月 11 日	理事長交代
平成 24 年 10 月 1 日	北栄会は清風会に吸収合併
平成 26 年 4 月 1 日	小規模保育室 1 か所開所、合計 3 か所
平成 27 年 3 月 5 日	園舎増改築
平成 28 年 4 月 1 日	第二五十川保育園（分園）開園
平成 30 年 4 月 1 日	定員 309 名に変更

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

令和 5 年度の五十川保育園は分園と合計して、月平均 306.7 名（利用率 99.2%）の園児を受け入れ、年間を通してほぼ安定した園児数を確保することができました。3ヶ所の小規模保育事業所は、月平均 22.3 名（利用率 82.7%）を確保しました。

令和 5 年度は分園や小規模保育事業所の 0 歳児入所が育児休暇充実に伴い、スタートが遅かったものの、どちらも 9 月には定員数に達しました。

(2) 運営報告

① 会議・委員会活動

職員会議をはじめとし、ケース会議、給食会議、衛生管理委員会、以上児会議、未満児会議、小規模会議、保育検討委員会を行いました。担任だけでなく、全職員に周知し、情報の共有を図りました。

② 行事・広報活動

令和5年度は、殆どの行事をコロナ禍以前の様に行うことができました。しかし、参観などは、分散型にして保護者の方に見て頂いた。また、フォトアルバムやインスタグラムには、園児の日常の楽しい様子をアップしました。

③ 実施研修報告

施設内研修では、経験の浅い職員が増えたため、「保育の質」が低下しないように、職員会議、以上児会議、未満児会議を利用して、保育の在り方や不適切保育について討議しました。特に不適切保育については、十分に研修を行い、保育士はもちろんの事、同僚や先輩が雑な保育を行っている場合は、注意をし合える風通しの良い職場にするように話し合いました。

④ 苦情

・受付件数 0件

⑤ 事故報告

・アレルギー食誤食0件

・その他福岡市に報告が必要な大きな事故等はありませんでした。

⑥ 地域交流・ボランティア

令和5年度は、子育てサークル「つぼみサークル」を立ち上げました。4月より、毎月インスタグラムで内容を告知し、募集しました。

4月、5月、6月はベビーマッサージの資格を持つ職員が、担当者となり沢山の方に参加してもらいました。また、その後も思考を凝らし、カリキュラムを充実させました。また、お土産も工夫を凝らし回数を重ねるごとに参加者も増えていきました。

「つぼみサークル」が新規園児獲得に繋がったり、地域の子育てに悩む方の悩み相談の場所になったりと、大変有意義な活動になりました。

4. 総括

年間を通して、園児の入れ替わりが非常に多い年でした。保護者の転勤や勤務形態変更により、14名が途中退園をし、21名が途中入園しました。また、小規模保育所から本園への施設変更は2名ありました。

行事関係は、昨年までのコロナ禍で行事縮小を余儀なくされ「誰のための行事か」を考え直すいい機会となりました。現在は、通常保育に戻りましたが、今までの観念に囚われず、常に「子どもにとって、最善の保育」を行うように、職員全員で考えていきたいと思えます。

狭い園舎内に、大勢の園児がいる五十川保育園は、運動会・発表会などは、他施設を借りて行っています。今年のマラソン大会は、ららぽーと4階のグラウンドを使用して行うことが出来ました。通常高額な賃貸料が必要な施設ですが、当園は「地域枠」として、無料で借りる事が出来、保護者にとっても駐車場の心配が無く喜びの声を頂いたので、今後も利用させて頂きたいと思えました。

感染症では、「嘔吐下痢症」が流行り、職員も毎日消毒や清掃に追われました。今後も感染症に気を付け、園児の健康に留意し衛生管理を徹底します。

福岡市の調査結果では、定員割れの保育園が6割に上っているとの報告があり

ました。また令和5年度は「こども誰でも通園制度」が開始され福岡市内の保育園3園が参加しています。さらに育休制度の充実により0歳児の入所が少なく余剰職員がいる保育園もある中、当園は、0歳児の利用数が99.6%となっています。育休制度が充実している中で、0歳児の定員割れが福岡市内でも目立っており、今後は、入園児数と職員数のバランスを考え、職員の入職などをコントロールする必要があると言えます。

しかし、まずは今後も保護者を選択して頂ける安全な施設を目指し、日々の保育を大切に丁寧に行っていく事が大切だと考え、その為に職員一同、力を合わせて努力していく所存です。

香住ヶ丘保育園

1. 施設概要

施設所在地	福岡市東区香住ヶ丘 1-13-10
施設長氏名	佐野 正人
事業開始年月日	昭和 55 年 4 月 1 日
実施事業・定員	保育所（定員 300 名） 分園事業（定員 24 名）

2. 沿革

昭和 55 年 4 月 1 日	保育園開設 定員 100 名
昭和 59 年 4 月 1 日	定員 120 名に変更
昭和 60 年 4 月 1 日	定員 140 名に変更
平成 4 年 4 月 1 日	定員 170 名に変更
平成 7 年 5 月 1 日	定員 190 名に変更
平成 8 年 5 月 1 日	定員 200 名に変更
平成 11 年 4 月 1 日	定員 240 名に変更
平成 21 年 12 月 1 日	定員 24 名の松香台分園開設
平成 22 年 4 月 1 日	定員 294 名に変更
平成 27 年 4 月 1 日	新園舎完成 定員 324 名に変更

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

令和 5 年度の園児数は標準時間 297 名、短時間 13 名、合計 310 名。前年度より 3 名少なくスタートしました。年間の利用率状況は本園・分園併せて 98.3%となった。0 歳児の入園が心配されたが本園では 4 月 15 名から 3 月には 18 名と定員数に近い数字となった。

(2) 運営報告

・会議・委員会活動報告

職員会議をはじめ、その他にもミーティングを行っています。クラスミーティング、リーダーミーティング、事務所ミーティング等を活用し情報共有を図りました。

・行事実施報告

新型コロナウイルスも第 5 類となり緩和され、行事等も今まで通り行うことができました。保育参観は参観週間を設け分散して行いました。

・研修実施報告

毎月実施するケース会議にて、配慮が必要な児童に対する対処方法等について積極的に議論し、統一した対応が出来るようにしました。また、福岡市が行う「保育現場の魅力向上支援事業」に参加し園内研修などを充実

させました。保育士が参加する研修などの報告も職員会議を通して行うことができました。

・苦情報告

苦情も特にありませんでした。

・事故報告

1件

園児が戸外遊び中に転倒し、鼻を骨折する事故がありましたが、2週間で完治しています。

・地域交流・ボランティア

地域の高齢者の集いに参加して、ダンスや歌を披露しました。地域の大学に観劇に行き大学生と触れ合い、文化祭に掲示する絵を描き飾っていただきました。

4. 総括

昨年度から引き続き、園児獲得に力を入れ当園の強みである担当制保育、縦割り保育の良さを伝え、分園も合わせて310名でスタートしました。

産休・育休の保育士が復帰したことと、保育士不足なども重なり新入職員を採用することができませんでした。実習生から就職へとつなげられるように力をいれていきたいと考えています。

新型コロナウイルスも第5類となり、少しずつ地域との交流や、子育てサークルも再開しました。子育てサークルでは地域の未就園児さんと、絵本読みや手遊び、制作、園庭開放などを取り入れて喜んでいただけました。

運営面において、縦割り保育が5年目となり「非認知能力」や「自分で考える力」を身につけられるように日々の保育を行ってきました。年長児は令和5年度より就学に向けた取り組みの一つとして「課業」を取り入れました。自分の考えや自分の思いを発言できる場を設けコミュニケーション力も育てていると感じています。

また、0歳から2歳児の未満児クラスは担当制保育を行い、ひとり一人に合わせた丁寧な保育を心掛けました。乳幼児期にとって一番大切な愛着関係をしっかりと築き、安心して過ごすことができました。

卒園する園児や保護者、進級する際には担任にたいして心温まるお言葉をいただきました。

今後も職員一同、子どものための、子どもを真ん中にした保育を考えながら行っていきたいと思います。

平等寺保育園

1. 施設概要

施設所在地	宗像市平等寺 465-1
施設長氏名	内野 安子
事業開始年月日	平成 16 年 4 月 1 日
実施事業・定員	保育所（定員 200 名）

2. 沿革

平成 16 年 3 月	社会福祉法人 藤栄会 設立認可
平成 16 年 4 月 1 日	定員 60 名で開設
平成 17 年 4 月 1 日	定員 80 名に変更
平成 18 年 4 月 1 日	定員 100 名に変更
平成 20 年 4 月 1 日	一時保育室、地域子育て支援相談室、乳児受入拡大室を保育室として変更
平成 24 年 10 月 1 日	藤栄会は清風会に吸収合併
平成 31 年 4 月 1 日	定員 200 名に変更

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

令和 5 年度は 170 名でスタートしました。コロナ感染症が落ち着き、0 歳児は見学者が増え、早い時期から定員に近い人数の受入れが出来、定員 12 名に対し、15 名となり 111.1%の利用率となった。全体の利用率は、85.9%となり月平均 85.9%と目標である 173 名を超えることができませんでした。

(2) 運営報告

① 会議・委員会活動報告

月 1 回の職員会議を始めとして、給食会議、ケースワーク会議、クラス会議、行事会議を行いました。各会議の内容によっては、正規職員、パート職員と分けることもあります。各会議にリーダーを置き、職員が積極的に会議に取り組めるようにしました。全職員に周知し情報の共有を図りました。

② 行事实施報告

保護者参加の行事も増え、子ども達の様子を直に見ていただくことが出来ました。また個別懇談会を実施し家での様子を聞くことで、子どもの育ちを共有し、一緒に成長を見守ることが出来ました。

③ 研修実施報告

職員会議やクラス会議などで、保育の振り返りを行いクラスの出来事や悩みなどを共有し、問題解決を図りました。また、保育の在り方や子どもへの接し方について園内研修を行い、質の向上に努めました。

④ 地域交流・ボランティア

地域開故事業は状況によって中止となる場合もありましたが、少人数の受入れを行い園や子ども様子を知らせ、参加された保護者の育児相談を行うなど、保育園が地域の方にとって身近な存在となるように努めました。

⑤ 苦情報告

第三者委員に報告する事案はなく、苦情に該当する内容も特にはありませんでした。

⑥ 事故報告書

宗像市に報告する様な大きな事故はありませんでした。

4. 総括

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで様々な活動が行いやすくなり計画通りに行事を行うことが出来ました。年度初めに「保育理念・方針」の確認を行い、全職員が同じ方向を向いていけるように、また日々の保育の振り返りから課題を抽出し、意見交換しながら保育をすすめました。未満児クラスは「少人数制保育」を行い、子どもに寄り添った丁寧な保育を心がけ、子ども達は安心して雰囲気の中で、落ち着いて過ごす姿が見られました。また、以上児クラスは平等寺地区の自然に触れる機会を設け、探索活動や食育につながる活動を行い、身近な場所での活動を子ども達も楽しみながら参加することができました。子ども達の様子はクラスだよりやSNSに掲載し、保護者の方にも喜んでいただきました。

令和3年より宗像地区保育協会と宗像市が連携し行っている養成校周りや就職フェアに参加し、今年度は1名の採用につながりました。例年、宗像市は人材確保が課題となっていますので、取り組みの成果を感じています。今後も保育園や保育士の魅力発信を行い、保育士や園児の確保につながればと思っています。

子ども達は、年間を通して大きな事故や怪我もなく過ごしましたが、今後も安全管理を職員間で周知し、保護者の方が安心して預けられるように努めるとともに、子育て世代に選ばれる保育園となるように日々の保育を大切に行っていきたいと思います。

東かなまち保育園

1. 施設概要

施設所在地	東京都葛飾区東金町 2-13-10
施設長氏名	大森 有里絵
事業開始年月日	平成 25 年 4 月 1 日
実施事業・定員	保育所（定員 130 名）

2. 沿革

平成 2 5 年 4 月	東かなまち保育園 開設許可・事業開始
--------------	--------------------

3. 事業経過

(1)施設利用状況

令和 5 年度は、121 名でスタートし、月平均 127 名の利用で合計 1,526 名の利用となりました。

一時保育の利用は、5 月より新型コロナウイルス感染症が 5 類に引き下げられたこともあり、延べ 537 名の利用と昨年度から約 123 名増となりました。今年度、登録・利用する児童は利用人数制限のある 0 才児が多かったこともあり、コロナ禍前の利用人数までは戻すことは困難であった。

子育て広場事業では正規職員が常駐し、週 3 回の開催でイベント内容のより一層の充実を図ったところ、延べ児童 455 名、保護者 461 名の利用がありました。利用数が大幅に増えたため 1 日 5 組の人数制限を 7 組まで広げました。

(2)運営報告

① 会議・委員会活動報告

毎月 1 回職員会議、ケース会議、給食会議の実施を行い、行事反省、次月の行事確認、研修報告、全体として共有すべき事項や気になる子について話し合いました。また、毎月 1 回以上、リーダー会議を実施し、職員会議とは別に近況報告や伝達事項の共有を行いました。今年度は園長・主任・副主任で行う話し合いの機会も意識してもち、共通理解を深めるようにしました。

2 月には東かなまち桜園との BCP 研修に副主任が参加し、災害時の連携に向けて BCP の見直しと策定を行っています。昨年度に続き感染予防委員会も連携して行っている。

保育事業改善委員会では姉妹園との情報交換の場となり、東かなまち保育園の今後の方向性について検討する機会となりました。今年度は主任保育士が姉妹園見学の機会もあり、学びや気付きを職員と共有することができました。

② 行事实施報告

新型コロナウイルス感染症により規模を縮小して開催していた行事を、様子を見ながらコロナ禍前の形に戻すもの、持続するものにわけました。コロナ禍を通して開催内容を見直した行事は、保護者からも賛同を得

て行えました。運動会は昨年と同様に乳児クラスと幼児クラスに日にちを分け、一昨年から続けている本番の様子動画配信を保護者に公開しました。生活発表会は各保育室での発表からランチルームで舞台を設けての発表に変更し実施しました。保育参観に関しては2日間でクラスを分けて行い、保護者講習として子育てひろばで利用しているボランティア団体「わらべうたと絵本の会」を開催し親子で楽しむ時間を設けました。

TVのヒーローが来園するイベントやクラシックのコンサートなど、子どもが楽しんで参加できる行事や本物に触れる機会も取り入れました。

③ 研修実施報告

キャリアアップ研修を中心に参加してもらいました。

オンラインで実施される研修がまだまだ多い印象でしたが、現地参加の研修を希望する職員も増えキャリアアップ研修以外にも積極的に研修を受講する姿がありました。

研修については、職員会議で報告の場を設け、研修内容を共有しました。また、研修報告書を提出してもらい共有できる場所にファイルしています。

④ 苦情

・発生件数 2件、解決件数 2件

正門の利用を制限していることについての苦情が9月に1件ありました。納入箱に手紙が入っていたため、手紙への返事を園内へ掲示することで示しました。その後、意見はなかったため解決したと思われます。

近隣住民より、本部に苦情の連絡が入りました。降登園時9時前に正門からは出入りをしないという約束を守っていない親子がいるということと、注意喚起の掲示物が1枚外れているとの内容。張り紙の早急の直しと、4月に向けての新入園児保護者への注意喚起を行うことで承諾され、解決しています。

全職員への共有と確認を行いました。

⑤ 事故報告

・事故報告4件 内、病院受診11件、行政へ報告が必要な重大事故0件。

病院受診の事故で多かったのは、転倒による口元の打撲や小帯裂傷で11件中6件ありました。転倒は足元の不安定な乳児に多く見られました。今年度は5歳児による玩具の誤飲や、タオル掛けを噛んでの負傷など年長児では予測しづらいと思われる事故も起きたため、子どもたちにも注意を促し危険な行為を確認する時間を設けました。職員にも年齢に関係なく注意を払うことを改めて指導しました。

今年度は保護者への引き渡し後の怪我の対応が多くありました。その

ため何度かお便りなどで注意喚起を行いました。

安全面には常に意識を持ち保育にあたるよう、研修への積極的な参加を計画していきます。

⑥ 地域交流・ボランティア

新型コロナウイルス感染症は 5 類へと変わりましたが、園内での感染は年間を通して 20 名(報告あり)出ていたため東かなまち桜園との積極的な交流を行うことはできませんでした。年度末になり交流の再開の声掛けを頂いたため、様子を見ながら桜園の屋上への出入りや散歩を行いました。その他、高校生や中学生の職場体験の受け入れも行いました。

4. 総括

今年度は新型コロナウイルス感染症が 5 類へと変わり、登園自粛やクラス閉室などの心配は無くなりました。ただ、新型コロナウイルス感染症の以降の働き方の変化に伴う保育需要の多様化の影響は残り、今年度も多くの保育所が 0 才児定員割れの厳しい状況が続きました。それに伴い一時保育の利用人数も減少方向にありましたが、今年度は子育てひろばから繋がり利用する家庭も見られ、最終利用人数の増加と 6 年度の入園へと繋がりました。また、子育てひろばは、さらなるイベントの充実を図ると共に、研修への参加や講師の誘致・情報の発信などにも力を入れたため、利用者数が昨年度より更に伸び、延べ人数で子どもが 249 名から 455 名への増加、大人が 210 名から 461 名への増加となりました。

その一方で職員の応募は今年度も減少傾向が続き、昨年と同様に採用活動と人員の配置に悩む 1 年となりました。今年度は退職者の抜けたクラスに比較的応募の多い派遣職員を採用したため、人件費が予算を大幅に上回る結果となりました。来年度にむけ職員採用の見直しを図ります。

また職員間の円滑なクラス運営に向けての園内研修(弁護士によるパワハラ研修)も行いました。園内研修・園外研修を積極的に取り入れ一人ひとり子どもへの人権擁護の意識も持続することと、職員体制と職場環境を整えていくことで来年度も安全、安心な保育を行っていきけるようにします。

保育に関しては、コロナ禍前に行っていた形に戻すものとコロナ禍をきっかけに変化させていくもの进行を思索しながら行いました。職員や子どもたちの意見を積極的に取り入れ工夫することで、新しい行事の形や見せ方などの発見が有りました。行事の実施曜日に関しては昨年度の保護者意見を考慮し土曜日の実施を中心に見直しを行いました。来年度もアンケートなどを実施し保護者の意見を積極的に取り入れ、園児はもちろん保護者も地域の方にも利用したいと思われる保育園を目指していきます。

迎える職員も笑顔で保育にあたれるよう、話を聞く機会を増やしましたが、今後はさらなるケアが必要と考えています。

来年度も業界全体や都内・区内の情報を収集し、状況改善に取り組んでいきます。

大塚第一保育園

1. 施設概要

施設所在地	福岡市西区今宿町 376-1
施設長氏名	黒木祐子
事業開始年月日	平成 30 年 4 月 1 日
実施事業・定員	保育所（定員 130 名）

2. 沿革

平成 30 年 4 月 1 日	大塚第一保育園 設立認可 事業開始
-----------------	-------------------

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

令和 5 年度は職員 24 名、園児 105 名でスタートしました。糸島市の広域利用も含め、月平均 117 名（利用率 90.0%）の園児を受け入れました。

(2) 運営報告

①会議・委員会活動報告

職員会議（2 ヶ月に 1 回は大塚第二保育園と合同の職員会議を実施）をはじめ、リーダー会議、給食会議、ケース会議、クラス会議、行事会議、保育検討委員会等を行いました。会議内容は、非常勤職員にも伝え、全職員へ周知することで園児一人ひとりに丁寧な保育を行うよう取り組みました。検討委員会後は問題点や疑問点の解決を図るようにしました。

②行事・広報活動実施報告

行事も年間を通して、担当保育士が中心となり進めていきました。コロナウイルス感染症が 5 類になり、大塚第二保育園と共に協力し合い、出来る内容で進め、保育参観では保護者からの協力と理解を得て進めることが出来ました。

広報活動として園内での行事、園外保育等の写真をブログにアップし、また、インスタグラムを取り入れることで、地域の方や入所見学の方、新入园児の保護者への発信や在園児の保護者にも日々の保育の様子を伝えることができ、喜ばれています。

③研修実施報告

担当制保育の W E B 研修を受け、自園ではどのように取り組むか、できることは何か、大塚第二保育園の職員と共に話し合いをしながら取り組みました。

令和 6 年度も子どもたちのよりよい育ちのために、一人ひとりに寄り添い、安心できる人・場所となるよう、取り組みたいと思います。

専門的な知識を深める為に、行政や関係団体が主催する研修等へ参加しました。キャリアアップ研修は W E B の参加を中心に、参加職員は園内研修を行い、知り得た情報の共有を図りました。

④苦情報告

該当なし

今後も、保護者からの相談・要望をその都度受け止め、園長、主任、担任保育士だけでなく園全体で共有し、対応に努めました。伝達漏れや、日々の持ち物の返し忘れなどには、その日に保護者への連絡等徹底してまいります。

4. 総 括

⑤事故報告

園児の生命にかかわるようなものはありませんでしたが、今後も大きな事故につながらないように日々のヒヤリハットを見過ごさず、ケガにつながらないよう安全点検を怠らず、事故防止に取り組みます。また、子どもたちの運動能力の向上につながるような遊びを考え、今後も取り組んでまいります。

⑥ボランティア・地域交流

地域の育児相談会に参加し、入所していない保護者の悩み相談にのり、保育園での様子を伝えながら園を知ってもらうよう努めました。また、加入している地域の商工会のイベントに参加し、年長児の発表をすることが出来ました。来年度も参加し、園の知名度を上げたいと考えております。就職フェアにも参加し、保育士の実習を受け入れ、就職につながるよう努めました。

今年度は、課題としていた0・1歳児の入所数が、0歳児10名、1歳児19名でスタートしました。また、姉妹園の入園見学を参考にし、園見学等の対応の見直しを図ったことで、0歳児の入所児童を確保することが出来ました。それでも0歳児入園見学の問い合わせが多く、2歳児の園児数が少なかったこともあり、0歳児の受け入れ枠を15名まで増やし対応いたしました。糸島市の広域利用で、9名の園児を受け入れ、令和6年度も5名の継続利用を受け入れています。

2か月に1回育児相談会に参加し、育児休業中の方たちや地域の方たちに当園が広く知られるよう努めました。令和6年度も引き続き参加していきたいと思えます。

予定していた行事は保護者の協力や理解を得て、大塚第二保育園の園児との交流を図るため、年長児は保護者参加の合同運動会を園庭で実施し、0～4歳児クラスも、親子合同運動遊びとして、同学年同士の親子のつながりも大切にいたしました。

発表会は、0・1歳児はビデオ販売のみ、2～5歳児は園内にて入れ替わり制にして行うことが出来ました。卒園式では無事に29名の園児を卒園させることができました。

職員は、退職者が3名いますが、新人の職員も含め、グループ園の流れや基本保育を理解し協力し合い、新たな保育も取り入れながら努力を重ねていきます。

0～2歳児に月1回ではありますが、英語に触れる機会を設けたことで、歌や曲に合わせて真似をしたり、声に出したりする姿が見られ、日々の生活の一つとして英語に触れるのが、当たり前になると良いと思えます。

保護者の負担軽減を目的として、おむつのリサイクル回収も引き続き行います。

令和6年度は、原点に立ち返り、入所している園児や保護者の気持ちに寄り添うことを第一に、大塚第二保育園と共に全職員で協力し、子どもにとって過ごしやすく、保護者にとって居心地の良い保育園を考えてまいります。

大塚第二保育園

1. 施設概要

施設所在地	福岡市西区今宿町 376-1
施設長氏名	加藤かの子
事業開始年月日	平成 30 年 4 月 1 日
実施事業・定員	保育所（定員 130 名）

2. 沿革

平成 30 年 4 月 1 日	大塚第二保育園 開設許可・事業開始
-----------------	-------------------

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

令和 5 年度の大塚第二保育園は今年度職員 30 名、園児 108 名でスタートしました。月平均 116.6 名（利用率 89.7%）の園児を受け入れました。

(2) 運営報告

①会議・委員会活動報告

職員会議（2 ヶ月に 1 回は大塚第一保育園と合同の職員会議を実施）をはじめ、リーダー会議、給食会議、ケース会議、クラス会議、行事会議、保育検討委員会等を行いました。会議内容は、非常勤職員にも伝え、全職員へ周知することで園児一人ひとりに丁寧な保育を行うよう取り組みました。検討委員会後は問題点や疑問点の解決を図るようにしました。

②行事・広報活動実施報告

行事も年間を通して、担当保育士が中心となり進めていきました。コロナウイルス感染症が 5 類になり、大塚第一保育園と共に協力し合い、出来る内容で進め、保育参観では保護者からの協力と理解を得て進めることが出来ました。

広報活動として園内での行事、園外保育等の写真をブログにアップし、また、インスタグラムを取り入れることで、地域の方や入所見学の方、新入園児の保護者への発信や在園児の保護者にも日々の保育の様子を伝えることができ、喜ばれています。

③研修実施報告

担当制保育のWEB研修を受け、自園ではどのように取り組むか、できることは何か、大塚第一保育園の職員と共に話し合いをしながら取り組みました。

令和 6 年度も子どもたちのよりよい育ちのために、一人ひとりに寄り添い、安心できる人・場所となるよう、取り組みたいと思います。

専門的な知識を深める為に、行政や関係団体が主催する研修等へ参加しました。キャリアアップ研修はWEBの参加を中心に、参加職員は園内研修を行い、知り得た情報の共有を図りました。

④苦情

該当なし

⑤事故報告

該当有

園庭に設置している八角ジムから園児が転落し、右ひじを骨折した。
環境の改善と職員の子どもへの関わり方を見直しました。

⑥ボランティア・地域交流

地域の育児相談会に参加し、入所していない保護者の悩み相談にのり、保育園での様子を伝えながら園を知ってもらうよう努めました。また、加入している地域の商工会のイベントに参加し、年長児の発表をすることが出来ました。来年度も参加し、園の知名度を上げたいと考えております。就職フェアにも参加し、保育士の実習を受け入れ、就職につながるよう努めました。

4. 総 括

今年度は、課題としていた0・1歳児の入所が、0歳児9名、1歳児14名でスタートしました。

入園見学の対応方法の見直しを図ったことで、獲得が困難な0歳児多く受け入れることに成功しました。また、糸島市からの広域利用園児の受入も行い、経営の安定化を図りました。

2か月に1回育児相談会に参加し、育児休業中の方たちや地域の方たちに当園が広く知られるよう努めました。令和6年度も引き続き参加していきたいと思えます。

予定していた行事は保護者の協力や理解を得て、大塚第一保育園の園児との交流を図るため、年長児は保護者参加の合同運動会を園庭で実施し、0～4歳児クラスも、親子合同運動遊びとして、同学年同士の親子のつながりも大切にいたしました。

発表会は、0・1歳児はビデオ販売のみ、2～5歳児は園内にて入れ替わり制にして行うことが出来ました。卒園式では無事に29名の園児を卒園させることができました。

0～2歳児に月1回ではありますが、英語に触れる機会を設けたことで、歌や曲に合わせて真似をしたり、声に出したりする姿が見られ、日々の生活の一つとして取り組み、英語に触れるのが、当たり前になると良いと思えます。

保護者の負担軽減を目的として、おむつのリサイクル回収も引き続き行います。

また、今年度は適切ではない保育により福岡市から指導を受けましたが、直ちに改善計画を立て実行しています。

園児の健やかな成長と、保護者安心して預けられる保育園であり続けるために、今後も日々努力してまいります。